

会津美里町こども計画策定に向けて

目 次

I	こども計画の概要	1
1	こども計画とは	1
2	計画の位置づけ	1
3	計画の策定体制	2
II	実態把握調査の実施概要	3
1	調査目的	3
2	調査設計	3
3	回収結果	3
4	資料の見方	4
5	貧困・生活困難に関する分析の視点	4
III	実態把握調査の結果概要	5
1	子ども・子育てニーズ調査	5
	(1)子育て環境について	5
	(2)教育・保育事業の利用状況について	10
	(3)地域の子育て支援事業の利用状況について	12
	(4)病気の際の対応について	15
	(5)放課後の過ごし方の希望について	16
	(6)育児休業について	18
	(7)子育て支援策について	20
2	子どもの生活実態調査	22
	(1)生活状況について	22
	(2)体や心について	24
	(3)将来について	32
	(4)世帯の状況について	36
	(5)保護者と子どもの関係について	37
	(6)保護者の状況について	40
3	子ども・若者調査	50
	(1)普段の生活について	50
	(2)地域社会との関係について	51
	(3)自身に関する意識について	52
	(4)相談について	53
	(5)町の取り組みについて	55

令和6年6月3日

会津美里町

I こども計画の概要

1 こども計画とは

こども計画とは、全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会（ウェルビーイング）を実現していくための計画であり、「第2期会津美里町子ども・子育て支援事業計画」に位置付けた「市町村次世代育成支援行動計画」「市町村子ども・子育て支援事業計画」に加え、新たに「市町村子ども・若者計画」「市町村における子どもの貧困対策計画」を包含した計画です。

なお、計画の策定に当たっては、国から示される「こども大綱」及び「こども計画策定ガイドライン」を勘案します。

■包含する計画と根拠法

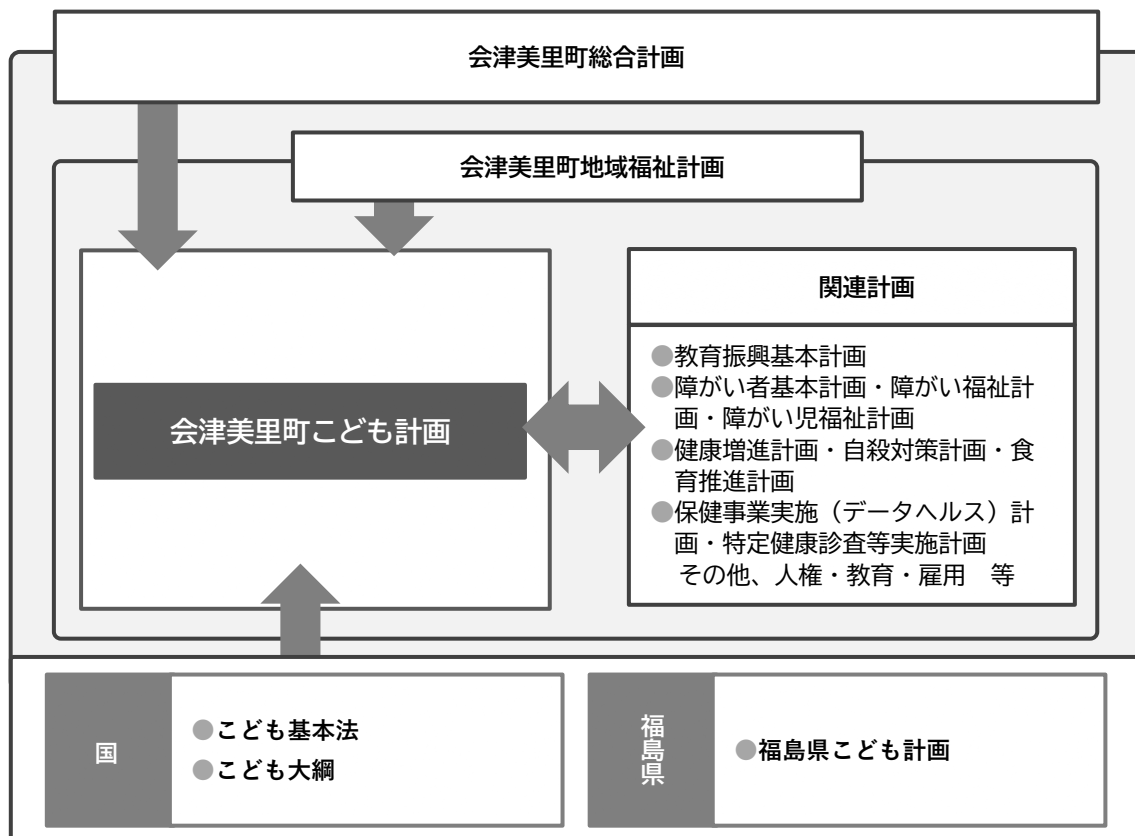
- ① 市町村次世代育成支援行動計画(次世代育成支援対策推進法第8条に規定)
- ② 市町村子ども・子育て支援事業計画(子ども・子育て支援法第61条に規定)
- ③ 市町村子ども・若者計画(子ども・若者育成支援推進法第9条第2項に規定)
- ④ 市町村における子どもの貧困対策計画(子どもの貧困対策の推進に関する法律第9条に規定)

2 計画の位置づけ

「こども計画」は、町の「総合計画」に基づく児童福祉・教育分野の個別計画であり、こども・若者に係る総合的な計画でもあります。また、福祉分野の上位計画である「地域福祉計画」や教育振興の基本となる「教育振興基本計画」等との整合を図りながら策定します。

なお、本計画は令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とし、必要に応じて内容の見直しを行います。

■計画の位置づけ



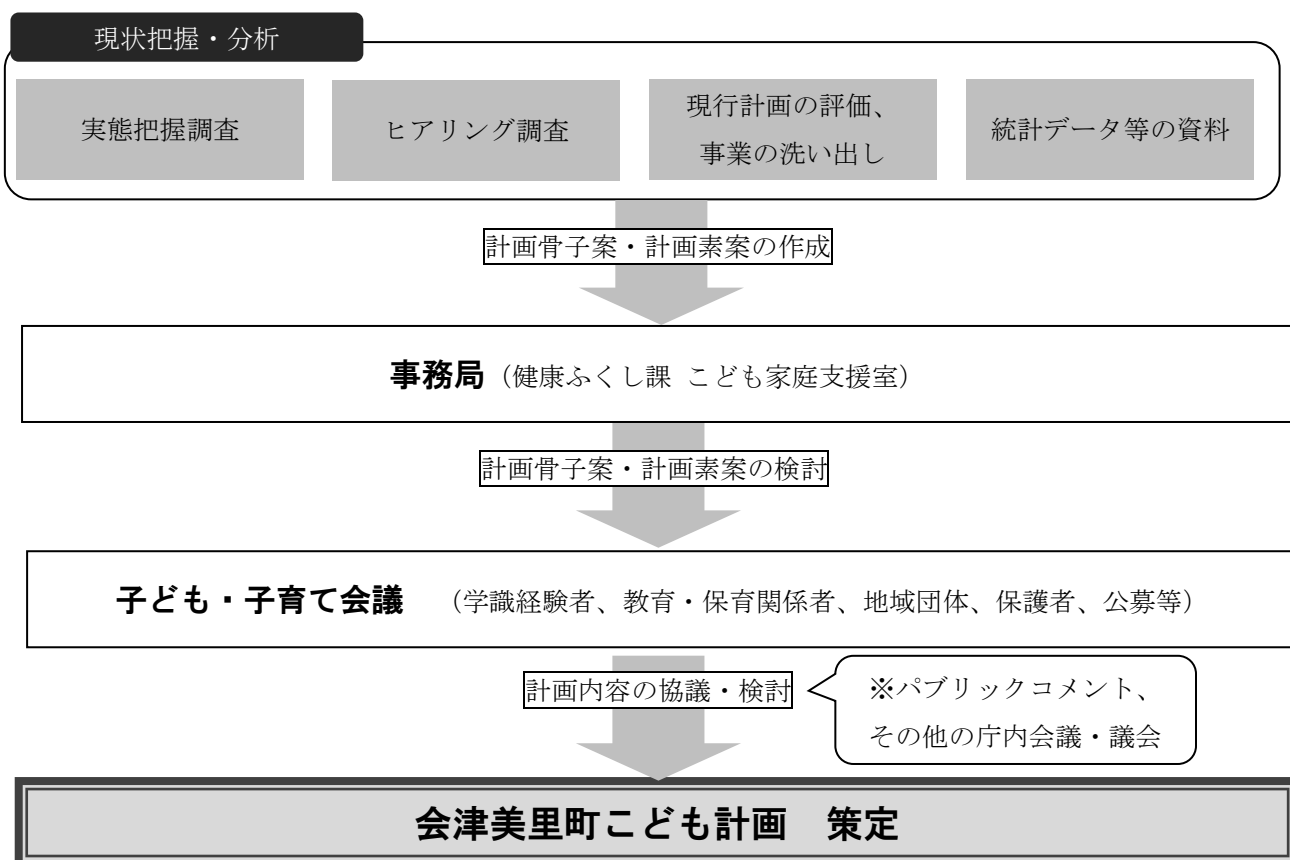
■各行政計画等の計画期間

() は今後策定予定

年度		令和 7年度 (2025)	令和 8年度 (2026)	令和 9年度 (2027)	令和 10年度 (2028)	令和 11年度 (2029)
計画の名称						
総合計画	基本構想	第3次	(第4次)			
	基本計画	後期	(前期)			
地域福祉計画		第4期				(第5期)
こども計画		本計画				
教育振興基本計画		第3期	(第4期)			
障がい者基本計画		第4期				
障がい福祉計画・障がい児福祉計画		第7期・第3期	(第8期・第4期)			
健康増進計画・自殺対策計画・食育推進計画		第3次	(第4次)			
保健事業実施（データヘルス）計画・特定健康診 査等実施計画		第3期・第4期				

3 計画の策定体制

本計画の策定にあたっては、以下の体制により、現状把握及び課題の抽出と計画内容の協議を進めます。



II 実態把握調査の実施概要

1 調査目的

本調査は、「第2期会津美里町子ども・子育て支援事業計画」が令和6年度で終了することから、次期計画として新たに“子どもの貧困対策計画”“子ども・若者計画”を包含する「会津美里町こども計画」(計画期間:令和7年度～令和11年度)を策定するため、子ども・子育て家庭や若者の生活状況等をおうかがいし、計画づくりの参考とさせていただくことを目的として実施しました。

2 調査設計

①子ども・子育てニーズ調査

項目	就学前児童保護者調査	小学生児童保護者調査
調査対象者	町内在住の就学前のお子さんをもつ保護者（無作為抽出）	町内在住の小学生のお子さんをもつ保護者（無作為抽出）
調査期間	令和6年2月29日（木）～3月25日（月）	
調査方法	保護者連絡システムによるQRコードを使用したWEB調査	

②子どもの生活実態調査

項目	小学5年生、中学2年生の児童・生徒調査	小学5年生、中学2年生の保護者調査
調査対象者	町内在住の小学5年生・中学2年生の児童・生徒及び保護者（無作為抽出）	
調査期間	令和6年2月29日（木）～3月25日（月）	
調査方法	学校配布のタブレットを通じたWEB調査	保護者連絡システムによるQRコードを使用したWEB調査

③子ども・若者調査

項目	18歳～39歳調査
調査対象者	町内在住の18歳～39歳の方（無作為抽出）
調査期間	令和6年2月29日（木）～3月25日（月）
調査方法	郵送によるQRコードを使用したWEB調査

3 回収結果

種別	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童保護者調査	500件	82件	16.4%
小学生児童保護者調査	800件	127件	15.9%
小学5年生、中学2年生の児童・生徒調査	295件	283件	95.9%
小学5年生、中学2年生の保護者調査	295件	118件	40.0%
18歳～39歳調査	1,000件	206件	20.6%

4 資料の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本資料内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇「その他」「不明・無回答」を除き、回答の高いもの**第1位**に網掛けをしています。
- ◇集計対象者数（n値）が30件以下については、件数を併記しています。
- ◇その他回答等の記述式設問の回答はご回答いただいた原文のまま記入しています。

5 貧困・生活困難に関する分析の視点

①分析の視点

今回実施した調査のうち、小学5年生と中学2年生の児童・生徒及び保護者向けに行った調査については、調査の目的から世帯の経済状況を区分して分析するための視点を設定する必要があります。設定にあたっては、先行する同種の自治体調査において用いられている代表的な視点を踏まえ、生活困難層と非生活困難層を比較分析しました。

②生活困難層の算定方法

相対的貧困世帯の算定は、国の「子どもの生活状況調査」を参考に、等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分を相対的貧困水準と定義しました。本調査においては、保護者調査で税込みの世帯収入を50万円区分で尋ねています。そこで、相対的貧困水準の算定に対応する可処分所得を概算したうえで、生活困難層となる区分を選定しました。

■子どもの生活実態調査における貧困層の割合

種 別	非生活困難層	生活困難層	不明・無回答	合計
小学5年生、中学2年生の 児童・生徒調査	144 件 (50.9%)	28 件 (9.9%)	111 件 (39.2%)	283 件 (100.0%)
小学5年生、中学2年生の 保護者調査	89 件 (75.4%)	18 件 (15.3%)	11 件 (9.3%)	118 件 (100.0%)

※「小学5年生、中学2年生の保護者調査」でお聞きしている世帯収入から生活困難層を算定し、子どもと保護者の回答を付け合わせ、「小学5年生、中学2年生の児童・生徒調査」における生活困難層を算定しました。なお、児童・生徒と保護者いずれかの調査票しか回答がない場合、付け合わせができないため、不明・無回答が多くなっています。

Ⅲ 実態把握調査の結果概要

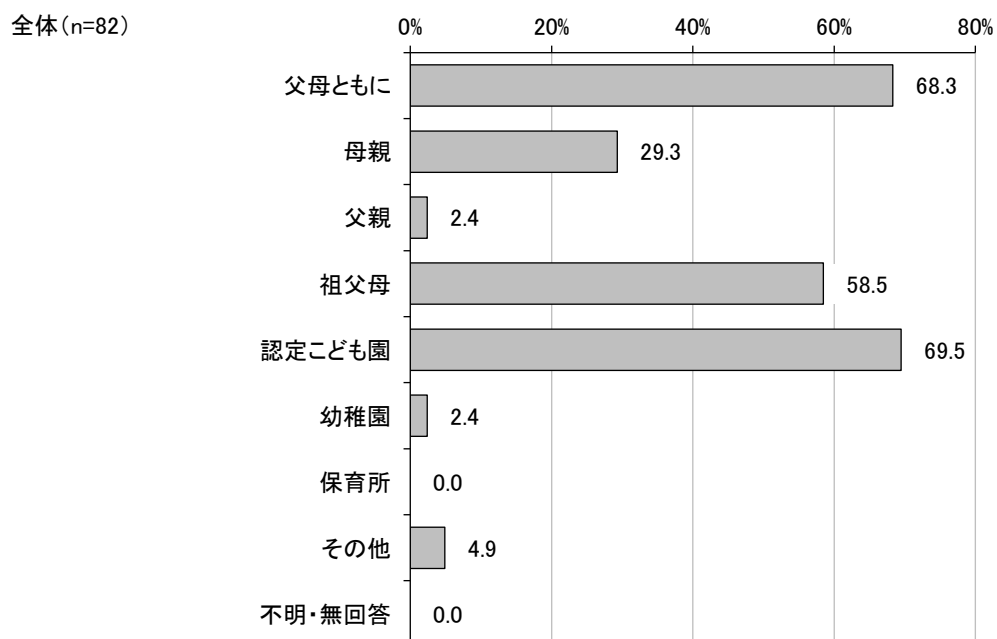
1 子ども・子育てニーズ調査

(1) 子育て環境について

①お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。

（あてはまる番号すべてに○）【就学前保護者】

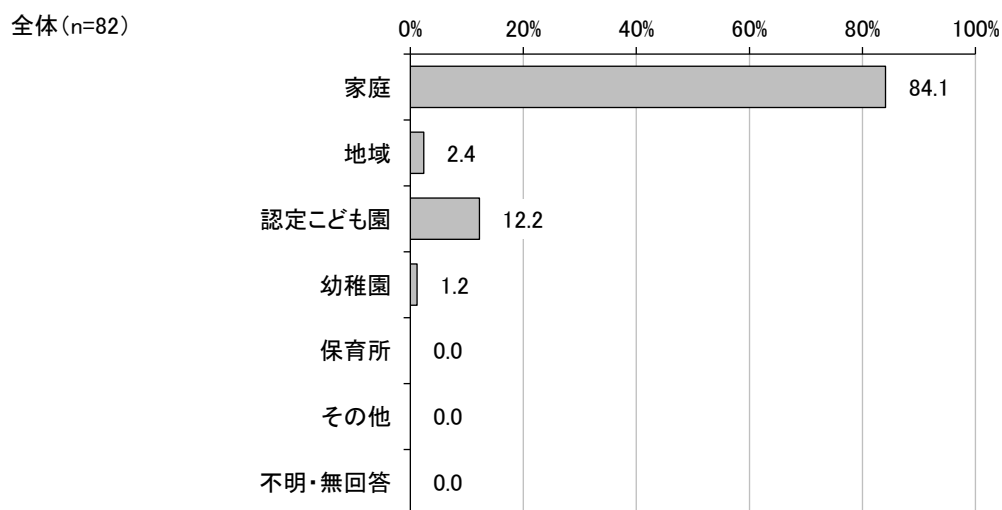
「認定こども園」が69.5%と最も高く、次いで「父母ともに」が68.3%、「祖父母」が58.5%となっています。



②お子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響を与えると思う環境は何ですか。

（1つに○）【就学前保護者】

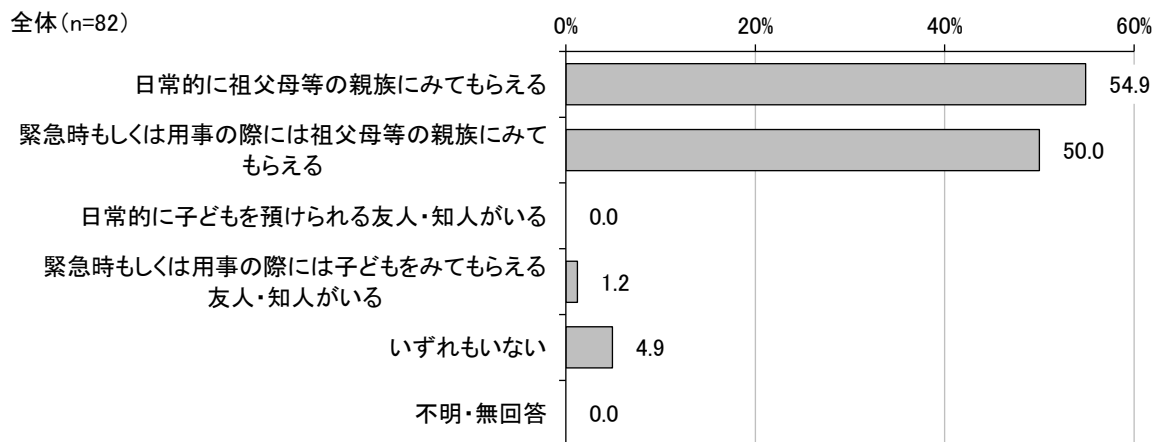
「家庭」が84.1%と最も高く、次いで「認定こども園」が12.2%、「地域」が2.4%となっています。



③日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

【就学前保護者】

「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が54.9%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が50.0%、「いずれもない」が4.9%となっています。

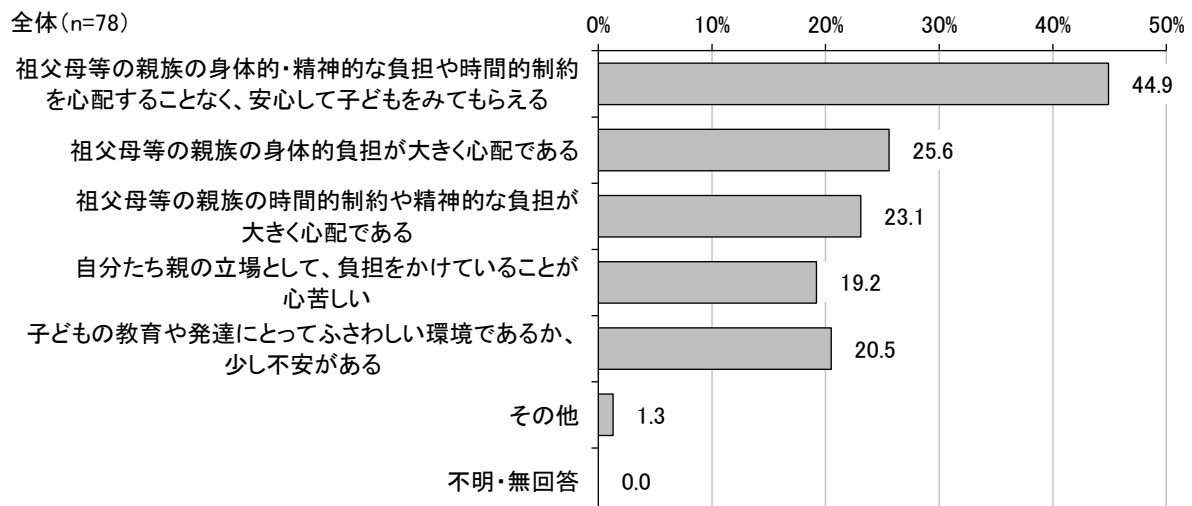


③で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方

④ 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

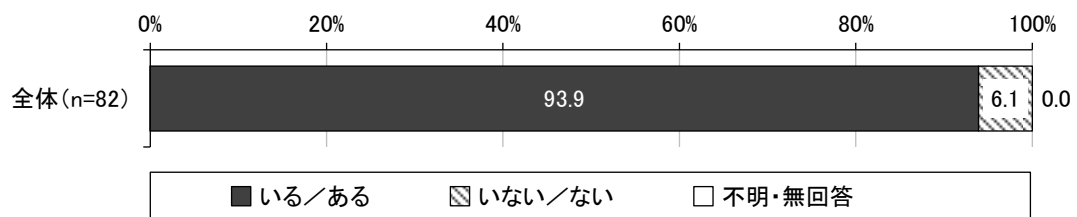
(あてはまる番号すべてに○)【就学前保護者】

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が44.9%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が25.6%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が23.1%となっています。



⑤ お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。（1つに○）【就学前保護者】

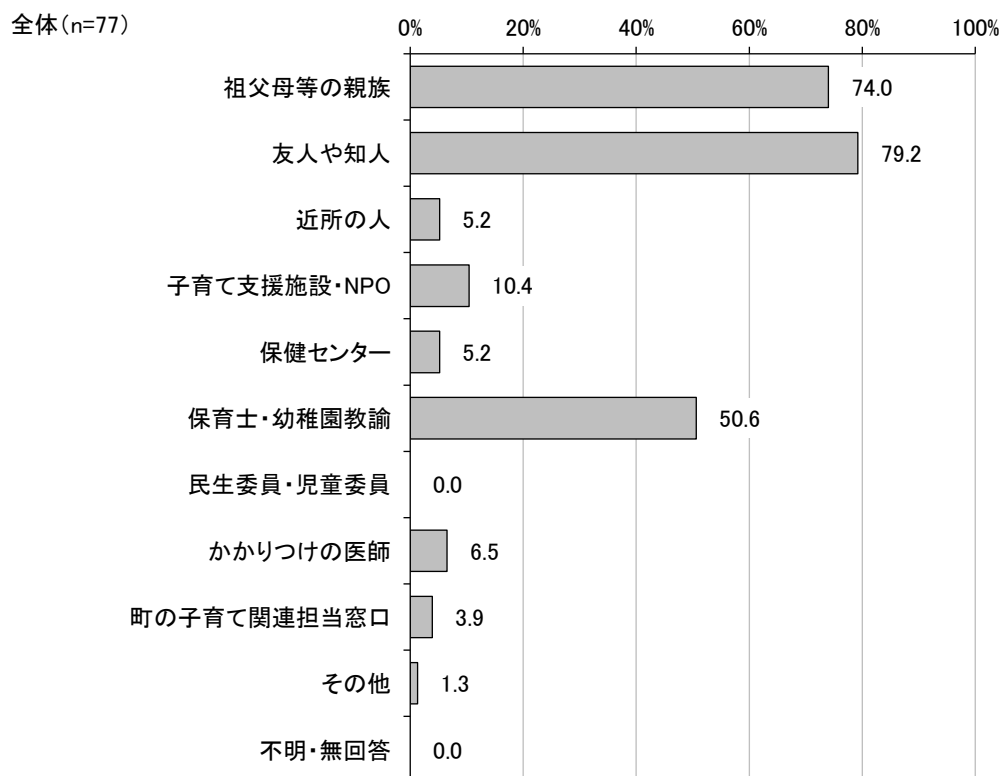
「いる／ある」が93.9%、「いない／ない」が6.1%となっています。



⑤で「いる／ある」に○をつけた方

⑥ お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまる番号すべてに○）【就学前保護者】

「友人や知人」が79.2%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」が74.0%、「保育士・幼稚園教諭」が50.6%となっています。



- ⑦ 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。【就学前保護者】

【預かりサービス】

- 土曜日を仕事の場合のみと制限するのは、困る。給食費も払っているので、もっと柔軟に対応してほしい。
- 土曜日、日曜日、祝日など仕事が休みではない親もいるのでそういう時に見てもらえる環境づくりをしてほしい。
- 突発的な用事などができた時に、当日でもすぐに預かってくれるような場所がもっとあるとよい。支援センターなどは基本前日までの予約なので。
- 急な場合に預かってもらえる所があると助かります。
- 子どもが0歳、1歳の時の母親の自分時間確保のため、理由を問わず一時預かりを月1回でも無料で利用できる制度があれば嬉しい。リフレッシュのために利用するのは気がひける人もいると思うので。
- シングルマザーということもあり、実家で暮らしているが、家族の負担も気にしてしまう。こども園という存在はとてありがたいが、病児（体調が良くなっても）は預けられないから仕事を休まざるを得ない。（家族はまだ働いている）。急に必要になった時にすぐに対応できるサポート（特に病児対応）があると助かる（明日みてもらいたいとか…）。仕方ないことなのは重々承知していますが…美里の子育て支援センターは病児だからと断られたことがありました。その時はなんだか八方塞がりな気になり、落ち込んだのを覚えています。

【認定こども園】

- 出産後も継続してこども園に預けられるような制度にして欲しい。
- こども園で、集団生活をしている中で、挨拶、規則を守ること、自由ばかりでは、小学校に入学後の子どもたちが可哀想です。
- 保育料の無料化。こども園職員の人員補充。
- 実際に経験したことですが、こども園に通う子どもが1号認定（延長保育ができませんでした。）の際に、小学校の説明会等があり、家で見てもらえる人もいない、小学校に連れていくことも断られました。こういう時にこども園で見てもらえるシステムがあったら助かります。すくすくハウスの利用を促されましたが、すぐ行ける距離でも無いので不便でした。サポートをもう少し手厚くして頂けたら助かる人が増えると思います。
- こども園に預けるようになってから、月一で通っていた保健師さんとの相談を受ける機会がない。（平日に行われているため）土曜にも開催してもらえるとありがたい。こども園に対するもやもやを吐き出す場所が欲しい。すくすくなどの支援センターなどで言うのがいいかと思うが、なかなか行けない。

【情報提供】

- 町でいろいろ教室などは開いてもらっているが、その教室がなんのために、どういう基準などで行ったらいかなどが、保健師さんに聞くまでわからなかった。説明や資料の補足などあったらわかりやすかったと思います。
- ファミリーサポートセンターがとてもありがたいですが、知っている人が少なすぎます。もう少し広がれば、困っているご家庭にサポートが届くのではないかとおもいます。
- 情報だけで十分助かっています。現在は末子が5歳になり、困っていることはほぼありません。高みを望めばもっと必要なことはあるかもしれませんが、サポートは充分利用しています。（子育てコンサートや町のスキー教室、お琴教室、和太鼓など）
- 地域の補助内容。
- 子どももカットOK！騒いでも泣いても大丈夫ですよ、みたいな美容室（床屋）の案内が広報などであったらいいなと思います。

【相談支援】

- すすくハუსのような子育て支援施設で、保育士さんや保健師さん等、子育てのプロにアドバイスをきいたり、悩みをきいてもらえるとありがたいと思う。
- 気軽に相談できるような環境。例えば、こども園に行ってる場合は定期的に面談するなど。送迎の時などは忙しそうで相談をなかなか出来ない。
- 何かあった時に、気兼ねなく助けてと言える環境があるといいと思います。ギリギリになってからでないと相談できない、親身になってもらえない状況は子どもにも悪影響を与えたいと思います。些細なことでも相談できる場所や相手がいれば心強いし、必要なサービスや支援を適切に受けられるきっかけになるのではないかと思います。
- 気軽に相談窓口。直接というよりLINE等でできると気軽に相談できる。相談したい時はあってもその相談のために時間を割いたり、知らない人と面と向かって話したりするのはしんどい時も。

【遊び場の確保】

- 子どもが楽しく遊べる環境をつくるサポート。
- もっと遊べる場所が欲しい。
- 子どもと自由に過ごせる場所があればいい。
- 屋内遊び場。

【経済的支援】

- 金銭面のサポート。
- 特に核家族だと、親自身が仕事と家事で忙殺されて子どもとゆっくり過ごす時間が取りにくいので、子どもを見てもらえるサポートもありがたいが家事代行のサービスとそれに対する補助があってもいいのではないかな。
- 習い事の援助。

【緊急時・見守り】

- 緊急時に迎えに行ってもらえるサポートは預け先が確保できない時に助かる。
- 緊急時（災害時等）に声をかけてもらうなど。
- 本人が地域の一員であることを認識するような声かけや人間関係の構築。

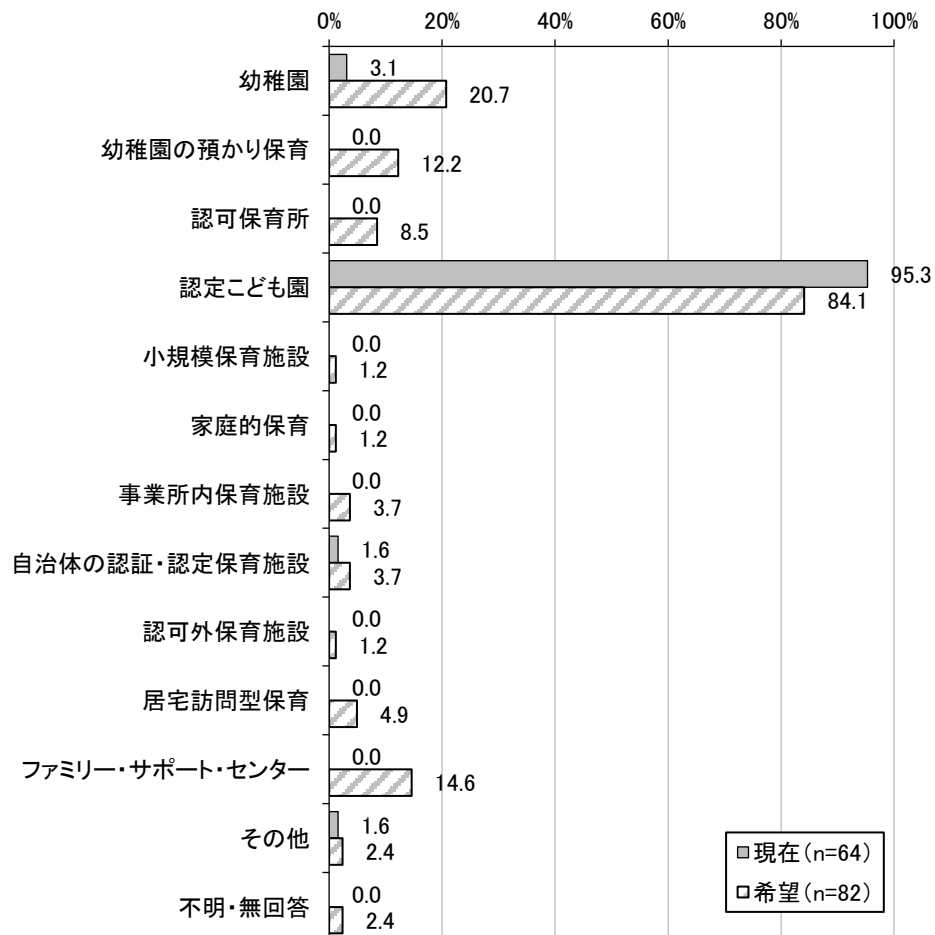
(2)教育・保育事業の利用状況について

① お子さんの平日の教育・保育事業の利用状況と利用希望（あてはまる番号すべてに○）

【就学前保護者】

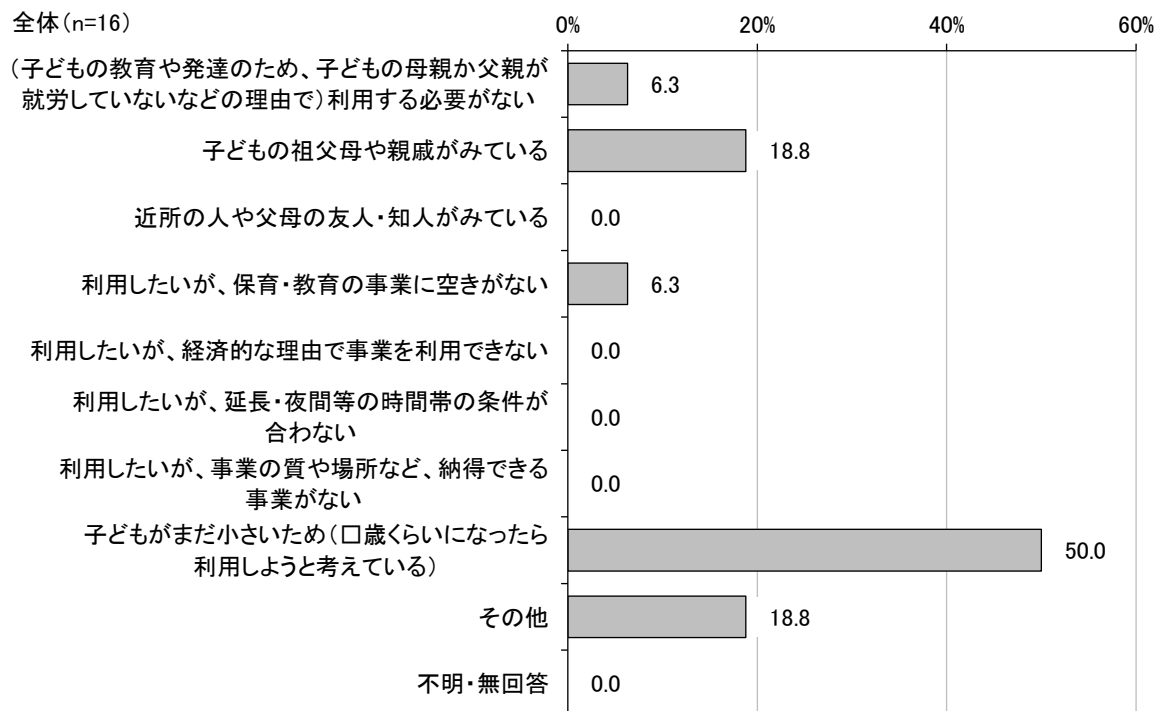
利用状況では、「認定こども園」が95.3%と最も高く、次いで「幼稚園」が3.1%、「自治体の認証・認定保育施設」が1.6%となっています。

利用希望では、「認定こども園」が84.1%と最も高く、次いで「幼稚園」が20.7%、「ファミリー・サポート・センター」が14.6%となっています。



② （現在、平日の定期的な教育・保育事業を）利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）【就学前保護者】

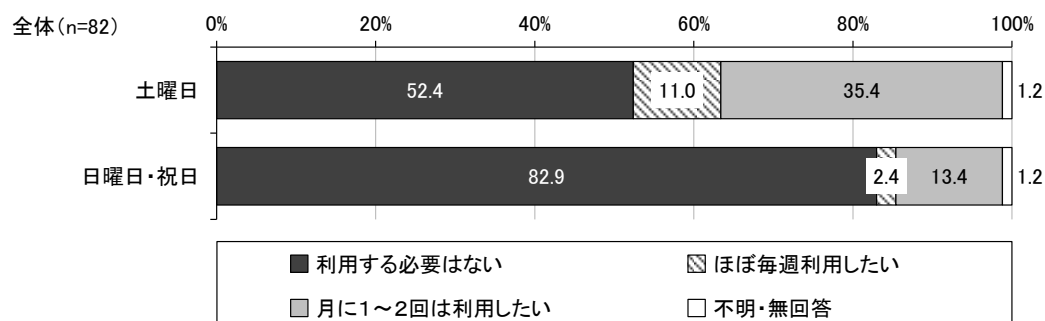
「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている）」が 50.0%（8 件）と最も高く、次いで「子どもの祖父母や親戚がみている」が 18.8%（3 件）、「利用する必要がない」「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が 6.3%（1 件）となっています。



③ お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。【就学前保護者】

土曜日では「利用する必要はない」が 52.4%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 35.4%、「ほぼ毎週利用したい」が 11.0%となっています。

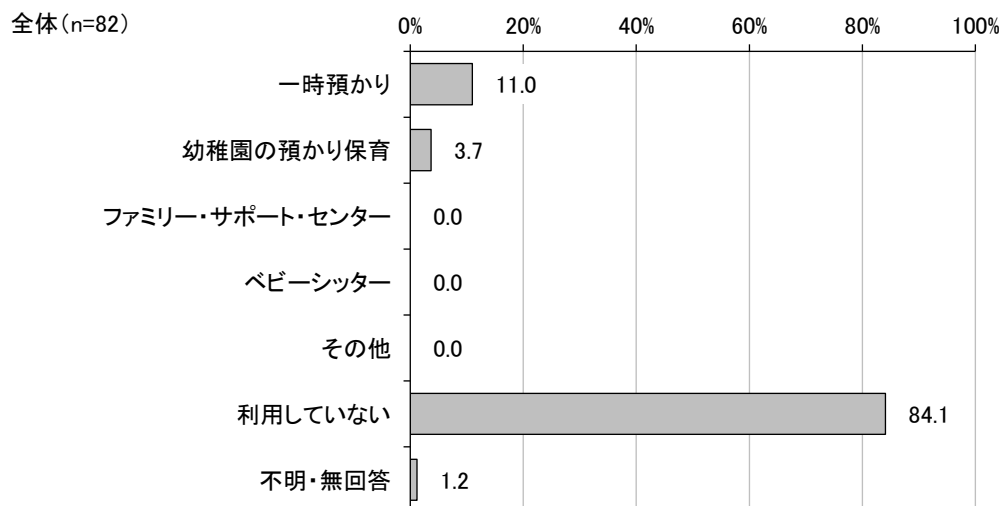
日曜日・祝日では「利用する必要はない」が 82.9%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 13.4%、「ほぼ毎週利用したい」が 2.4%となっています。



- ④ お子さんについて、平日の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（あてはまる番号すべてに○）

【就学前保護者】

「利用していない」が84.1%と最も高く、次いで「一時預かり」が11.0%、「幼稚園の預かり保育」が3.7%となっています。

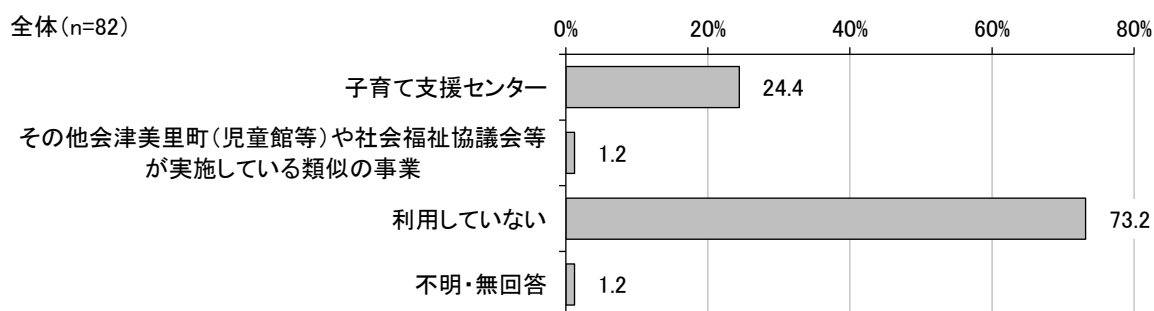


(3)地域の子育て支援事業の利用状況について

- ① お子さんは、現在、地域子育て支援事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場として開設している子育て支援センター）を利用していますか。

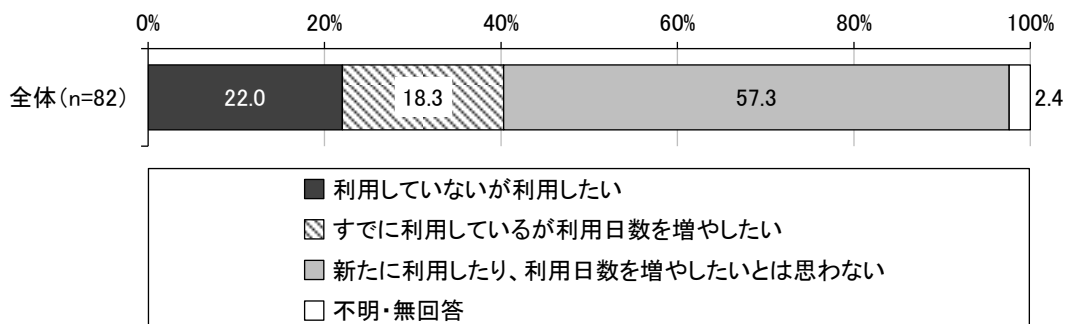
（あてはまる番号すべてに○）【就学前保護者】

「利用していない」が73.2%と最も高く、次いで「子育て支援センター」が24.4%、「その他会津美里町（児童館等）や社会福祉協議会等が実施している類似の事業」が1.2%となっています。



② 地域子育て支援事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（1つに○）【就学前保護者】

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が57.3%と最も高く、次いで「利用していないが利用したい」が22.0%、「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」が18.3%となっています。

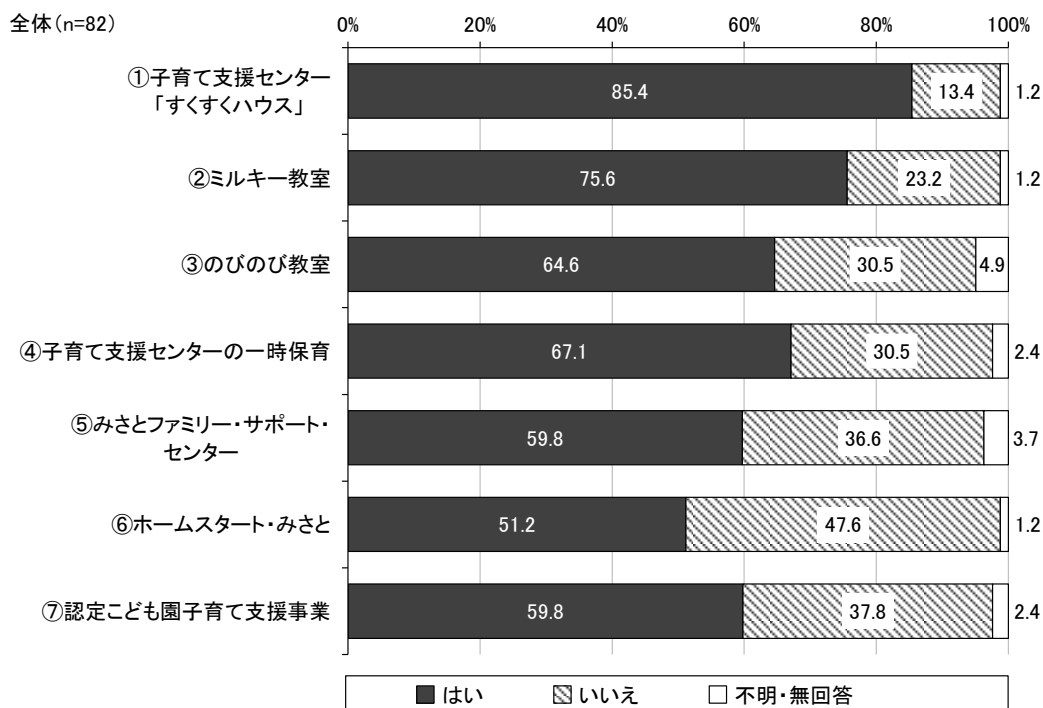


③ 下記の事業で知っているものや、今後、利用したいと思うものをお答えください。

（①～⑦の事業ごと、「はい」「いいえ」のいずれかに○）【就学前保護者】

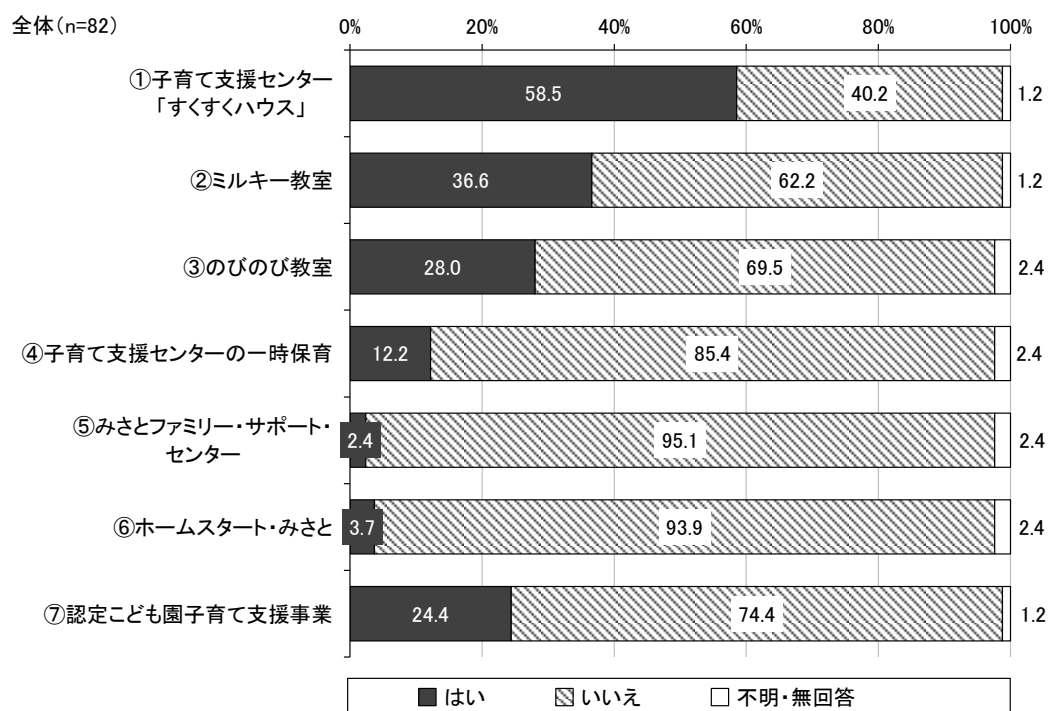
認知度

認知度については、いずれの事業においても「はい」（知っている）が5割以上となっており、〔①子育て支援センター「すくすくハウス」〕〔②ミルキー教室〕では7割以上と高くなっています。



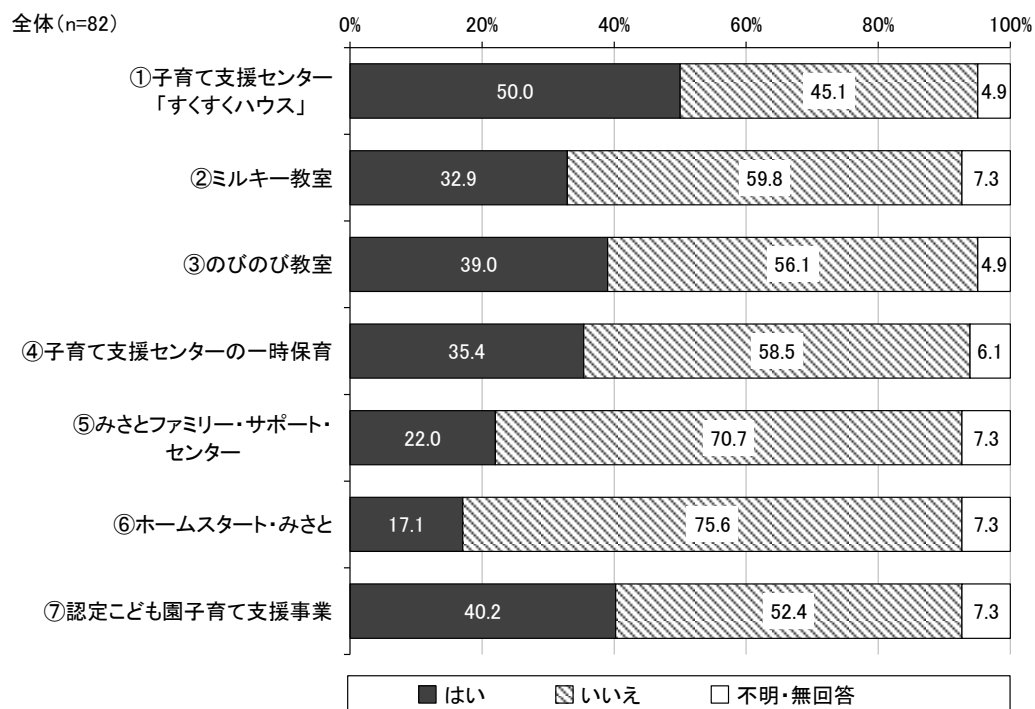
利用経験

利用状況については、〔①子育て支援センター「すくすくハウス」〕で「はい」（利用したことがある）が5割以上となっています。



利用意向

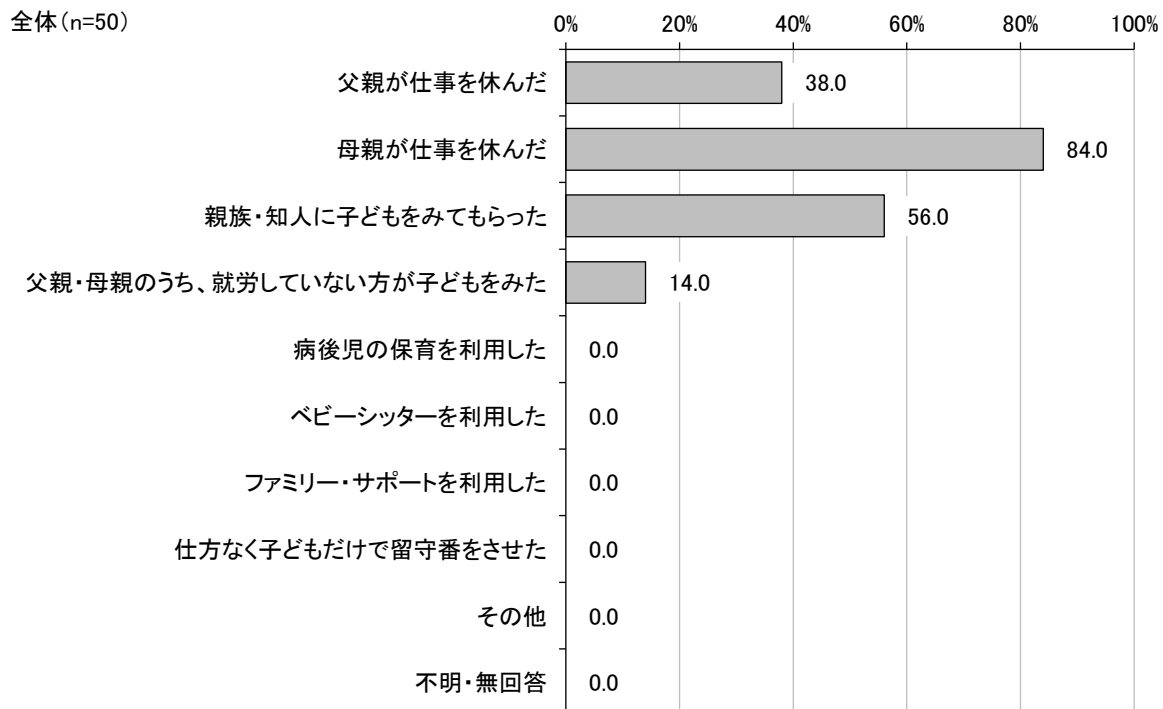
今後の利用意向については、〔①子育て支援センター「すくすくハウス」〕で「はい」（利用したい）が5割となっています。



(4)病気の際の対応について

- ① お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業を利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)【就学前保護者】

「母親が仕事を休んだ」が84.0%と最も高く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」が56.0%、「父親が仕事を休んだ」が38.0%となっています。

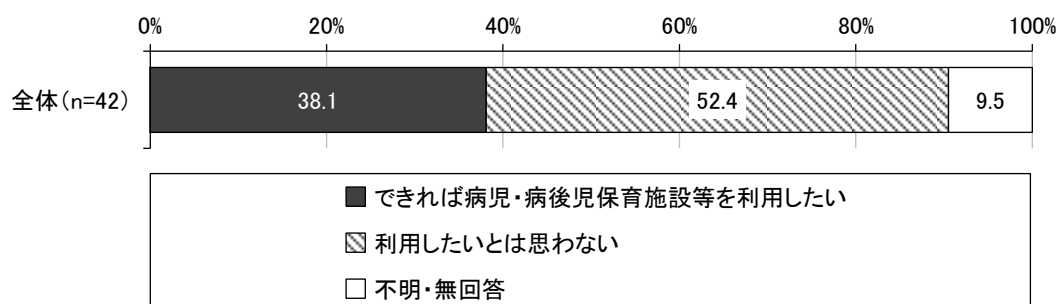


- ①で「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」のいずれかに○をつけた方

- ② その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。

(1つに○)【就学前保護者】

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が38.1%、「利用したいとは思わない」が52.4%となっています。



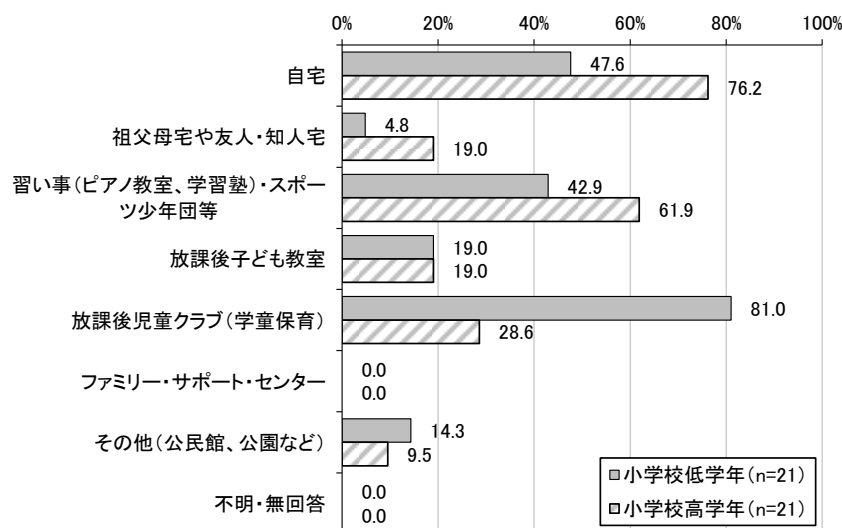
(5)放課後の過ごし方の希望について

- ① 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

【就学前保護者】

小学校低学年（１～３年生）では、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 81.0％（17 件）と最も高く、次いで「自宅」が 47.6％（10 件）、「習い事（ピアノ教室、学習塾）・スポーツ少年団等」が 42.9％（9 件）となっています。

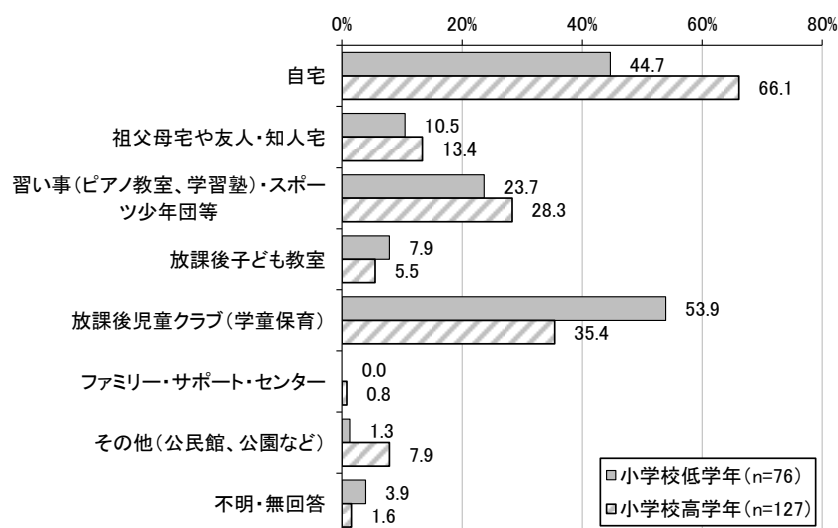
小学校高学年（４～６年生）では、「自宅」が 76.2％（16 件）と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、学習塾）・スポーツ少年団等」が 61.9％（13 件）、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 28.6％（6 件）となっています。



【小学生保護者】

小学校低学年（１～３年生）では、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 53.9％と最も高く、次いで「自宅」が 44.7％、「習い事（ピアノ教室、学習塾）・スポーツ少年団等」が 23.7％となっています。

小学校高学年（４～６年生）では、「自宅」が 66.1％と最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」が 35.4％、「習い事（ピアノ教室、学習塾）・スポーツ少年団等」が 28.3％となっています。



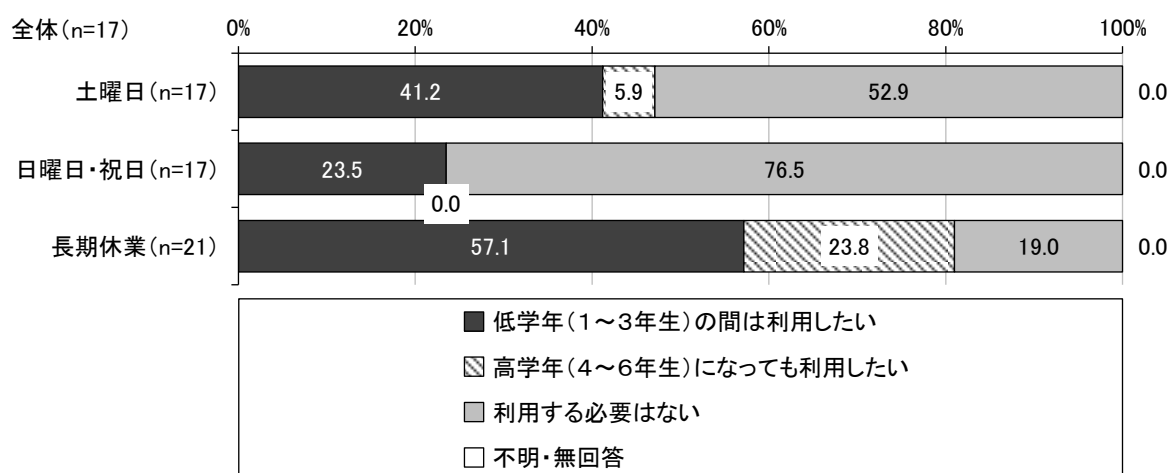
② お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日・長期休業期間中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1つに○)

【就学前保護者】

土曜日では「利用する必要はない」が52.9%（9件）と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が41.2%（7件）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が5.9%（1件）となっています。

日曜日・祝日では「利用する必要はない」が76.5%（13件）と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が23.5%（4件）となっています。

長期休業期間中では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が57.1%（12件）と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が23.8%（5件）、「利用する必要はない」が19.0%（4件）となっています。

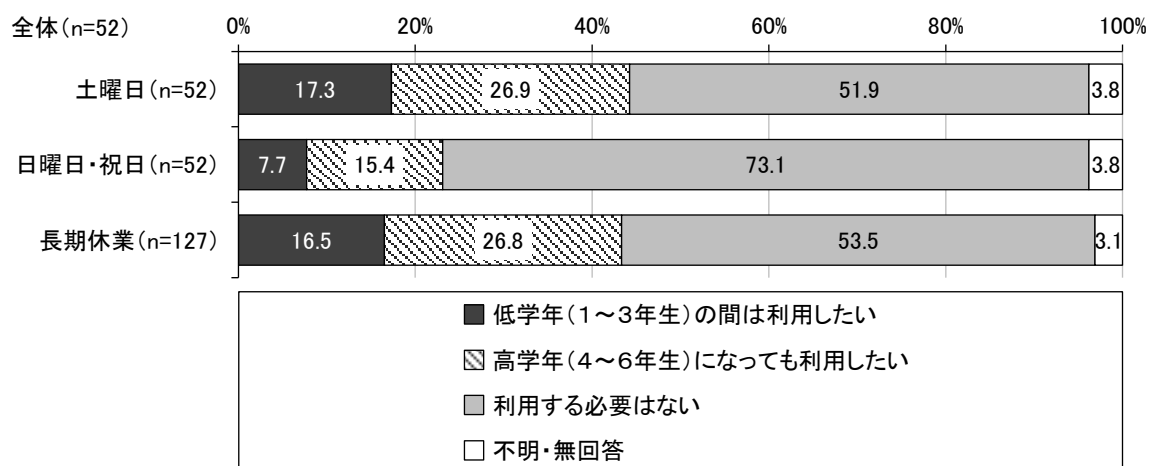


【小学生保護者】

土曜日では「利用する必要はない」が51.9%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が26.9%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が17.3%となっています。

日曜日・祝日では「利用する必要はない」が73.1%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が15.4%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が7.7%となっています。

長期休業期間中では「利用する必要はない」が53.5%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が26.8%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が16.5%となっています。



(6)育児休業について

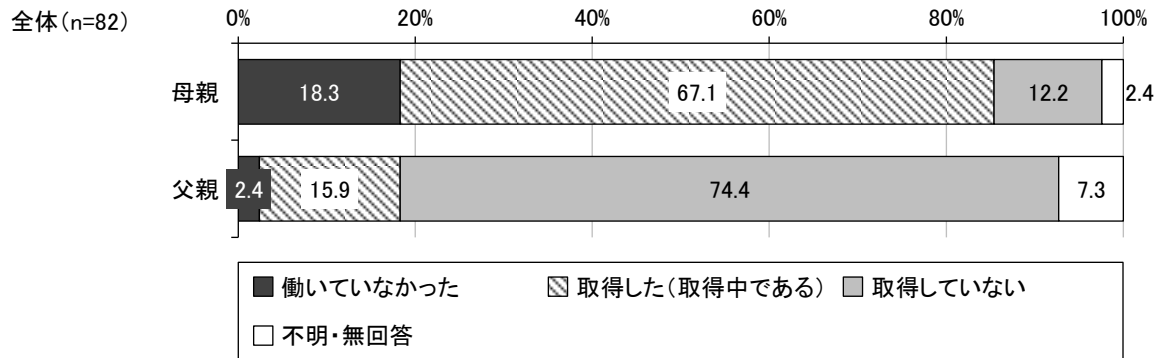
① お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

【就学前保護者】

■育児休業の取得状況（1つに○）

母親では「取得した（取得中である）」が67.1%と最も高く、次いで「働いていなかった」が18.3%、「取得していない」が12.2%となっています。

父親では「取得していない」が74.4%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が15.9%、「働いていなかった」が2.4%となっています。

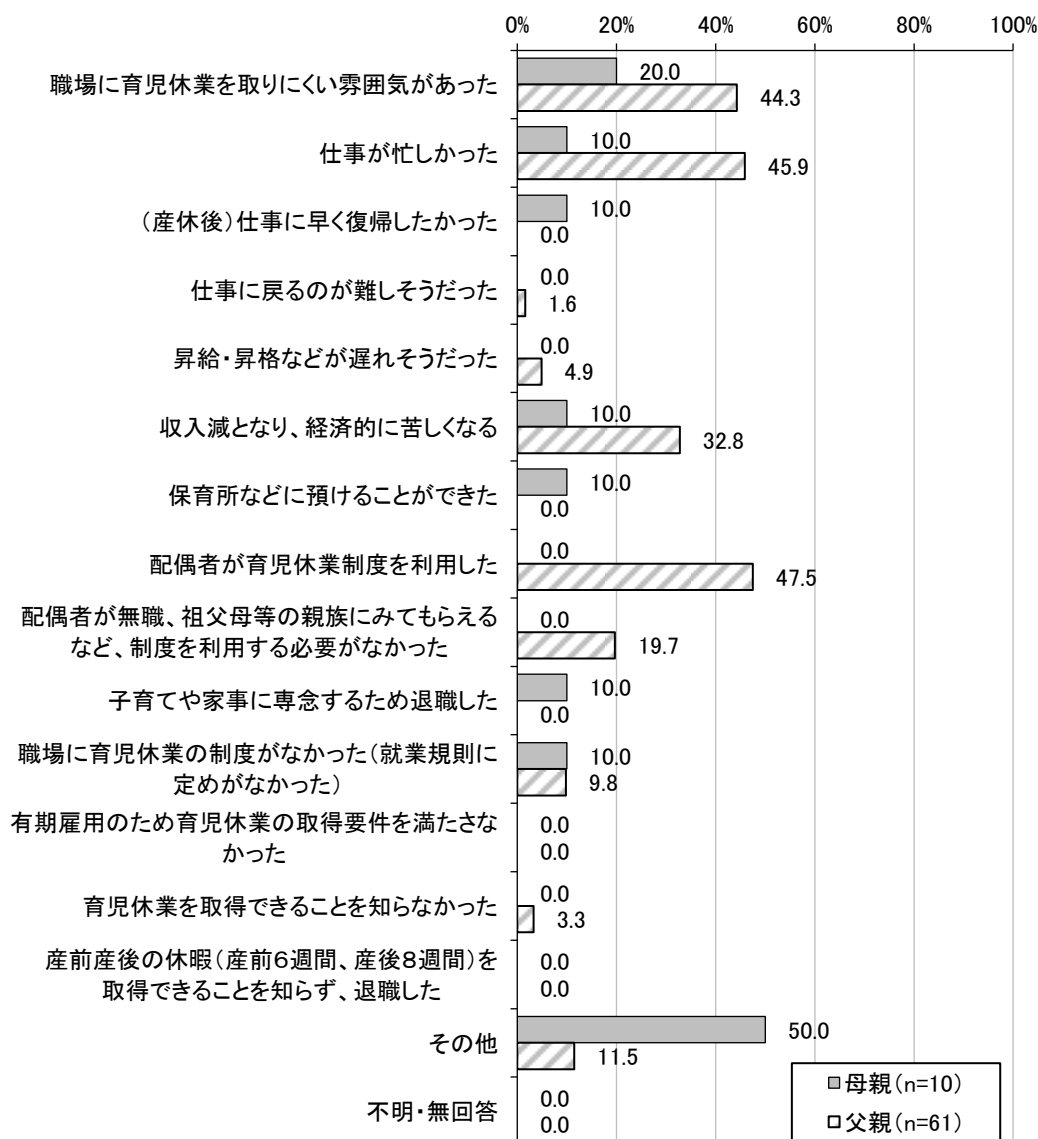


「取得していない」に○をつけた方

■取得していない理由(あてはまる番号すべてに○)

母親では「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が20.0%（2件）、「仕事が忙しかった」「（産休後）仕事に早く復帰したかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」「保育所などに預けることができた」「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が10.0%（1件）となっています。

父親では「配偶者が育児休業制度を利用した」が47.5%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が45.9%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が44.3%となっています。

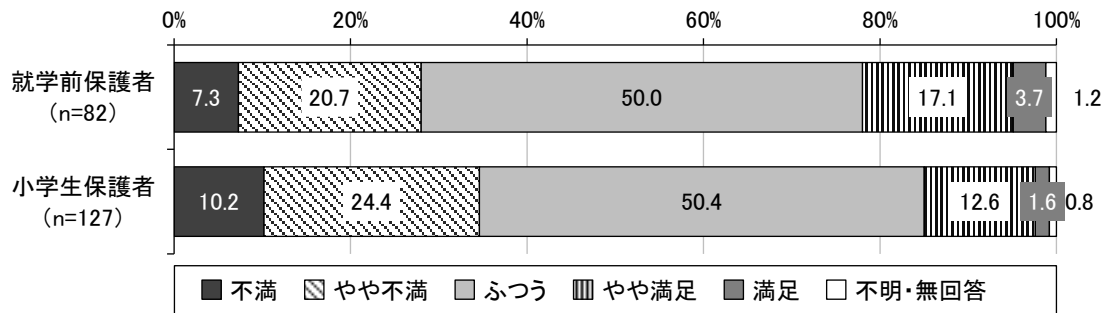


(7)子育て支援策について

① お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度をお答えください。(1つに○)

就学前保護者では、「ふつう」が 50.0%と最も高く、次いで「やや不満」が 20.7%、「やや満足」が 17.1%となっています。

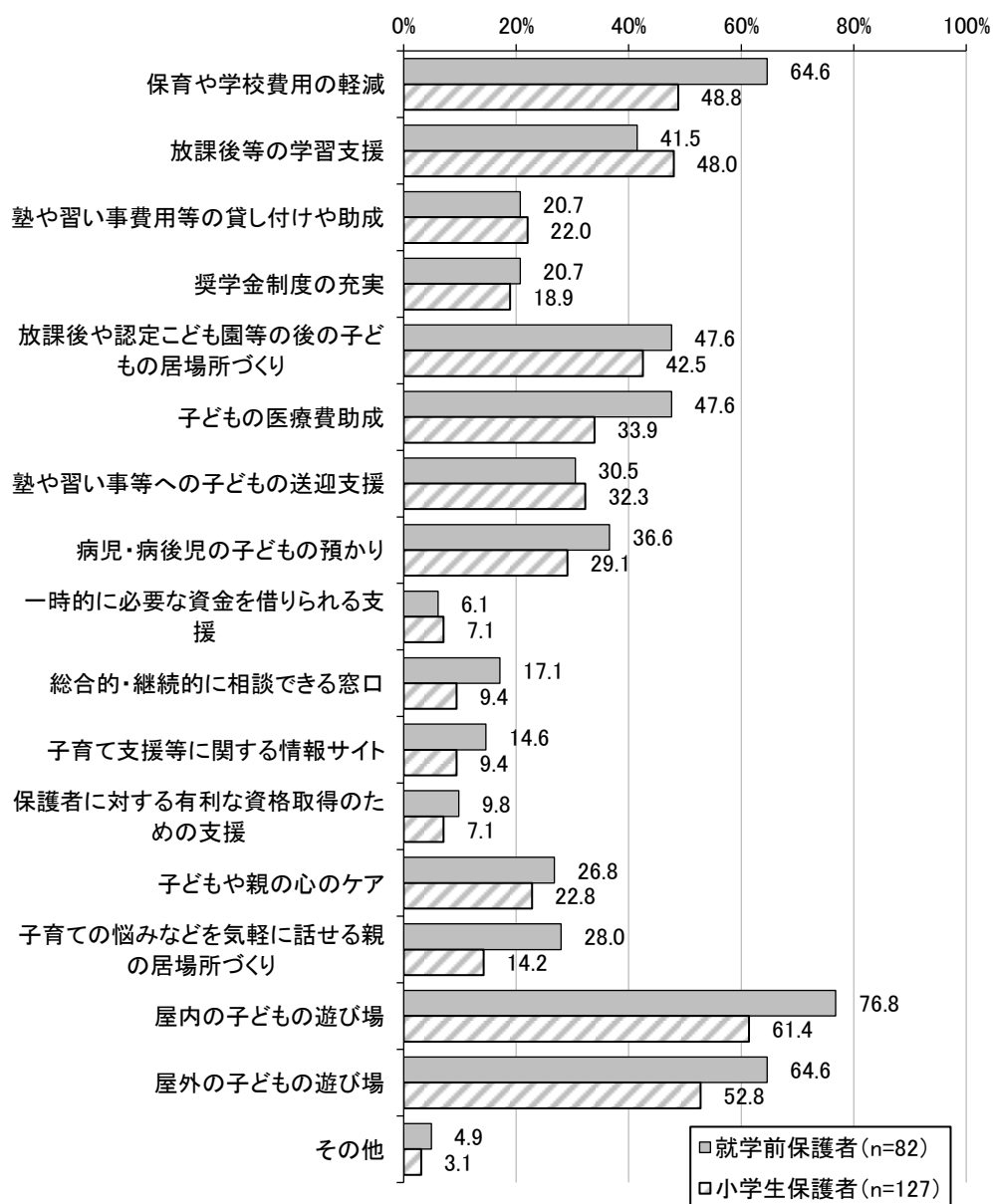
小学生保護者では、「ふつう」が 50.4%と最も高く、次いで「やや不満」が 24.4%、「やや満足」が 12.6%となっています。



② あなたが子育てをするうえで必要としていること、重要だと思う支援はどのようなものですか。
(あてはまる番号すべてに○)

就学前保護者では、「屋内の子どもの遊び場」が76.8%と最も高く、次いで「保育や学校費用の軽減」「屋外の子どもの遊び場」が64.6%となっています。

小学生保護者では、「屋内の子どもの遊び場」が61.4%と最も高く、次いで「屋外の子どもの遊び場」が52.8%、「保育や学校費用の軽減」が48.8%となっています。

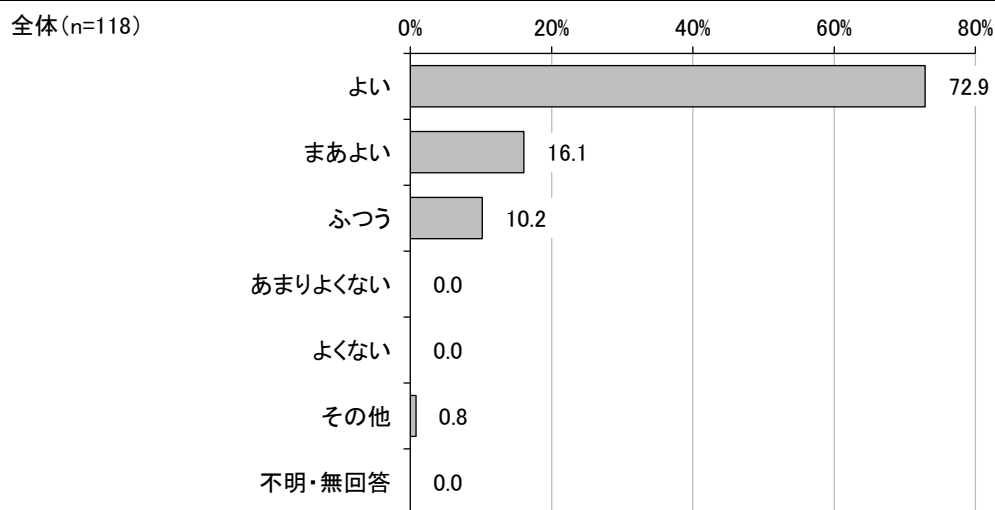


2 子どもの生活実態調査

(1)生活状況について

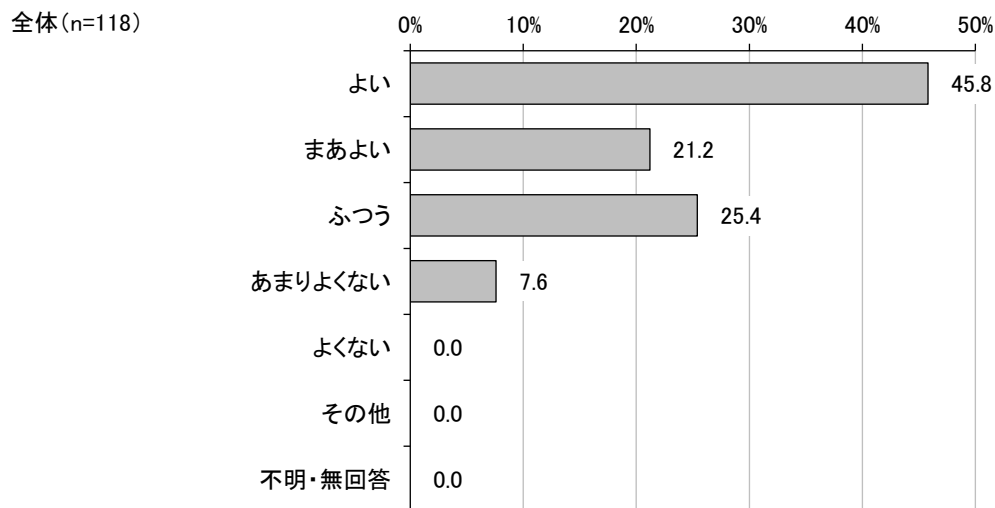
① お子さんの健康状態を教えてください。(1つに○)【保護者】

「よい」が72.9%と最も高く、次いで「まあよい」が16.1%、「ふつう」が10.2%となっています。



② あなたの健康状態を教えてください。(1つに○)【保護者】

「よい」が45.8%と最も高く、次いで「ふつう」が25.4%、「まあよい」が21.2%となっています。生活状況別にみると、[非生活困難層][生活困難層]ともに「よい」が最も高くなっています。

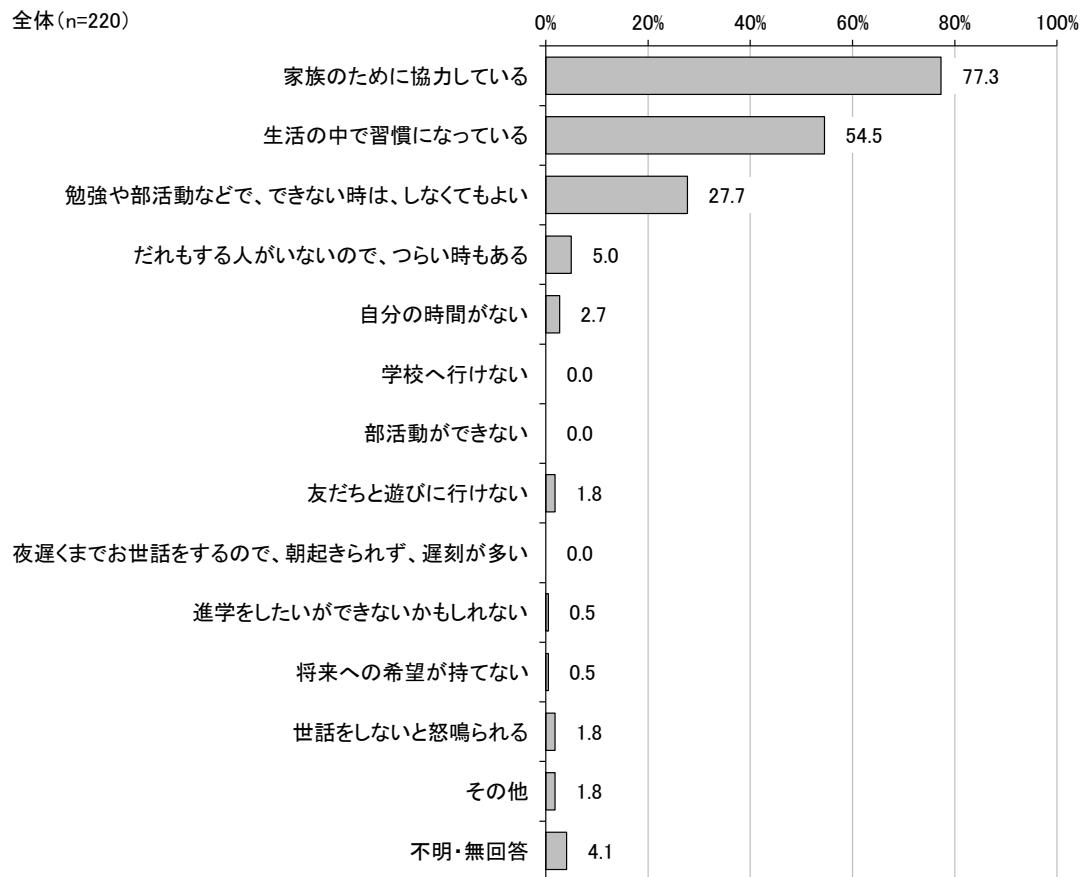


単位: %		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	その他	不明・無回答
全体(n=118)		45.8	21.2	25.4	7.6	0.0	0.0	0.0
状況別	非生活困難層(n=89)	47.2	21.3	27.0	4.5	0.0	0.0	0.0
	生活困難層(n=18)	38.9	11.1	27.8	22.2	0.0	0.0	0.0

③ 家で決まっているお手伝い（お世話）をどう思っていますか、またお手伝いにより困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）【児童・生徒】

「家族のために協力している」が77.3%と最も高く、次いで「生活の中で習慣になっている」が54.5%、「勉強や部活動などで、できない時は、しなくてもよい」が27.7%となっています。

生活状況別にみると、[非生活困難層][生活困難層]ともに「家族のために協力している」が最も高くなっています。



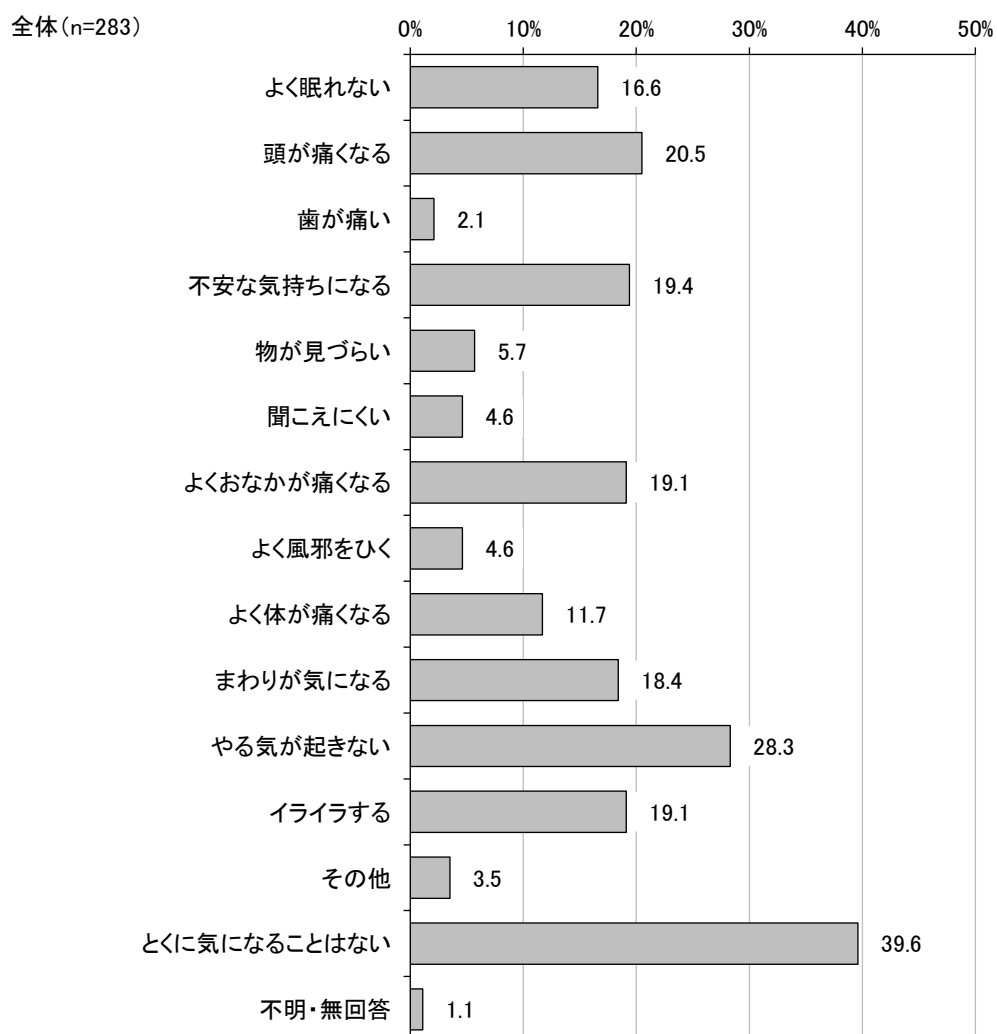
単位: %		家族のために協力している	生活の中で習慣になっている	勉強や部活動などで、できない時は、しなくてもよい	だれもする人がいないので、つらい時もある	自分の時間がない	学校へ行けない	部活動ができない	友だちと遊びに行けない	夜遅くまでお世話をするので、朝起きられず、遅刻が多い	進学をしたいができないかもしれない	将来への希望が持てない	世話をしないと怒鳴られる	その他	不明・無回答
全体 (n=220)		77.3	54.5	27.7	5.0	2.7	0.0	0.0	1.8	0.0	0.5	0.5	1.8	1.8	4.1
状況別	非生活困難層 (n=115)	80.0	54.8	27.8	4.3	1.7	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.9	3.5	2.6
	生活困難層 (n=22)	81.8	63.6	36.4	13.6	13.6	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5	4.5	9.1	0.0	0.0

(2)体や心について

① 自分の体や気持ちで気になることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

【児童・生徒】

「とくに気になることはない」が39.6%と最も高く、次いで「やる気が起きない」が28.3%、「頭が痛くなる」が20.5%となっています。



生活状況別にみると、[非生活困難層]では「とくに気になることはない」、[生活困難層]では「よくおなかが痛くなる」「やる気が起きない」が最も高くなっています。

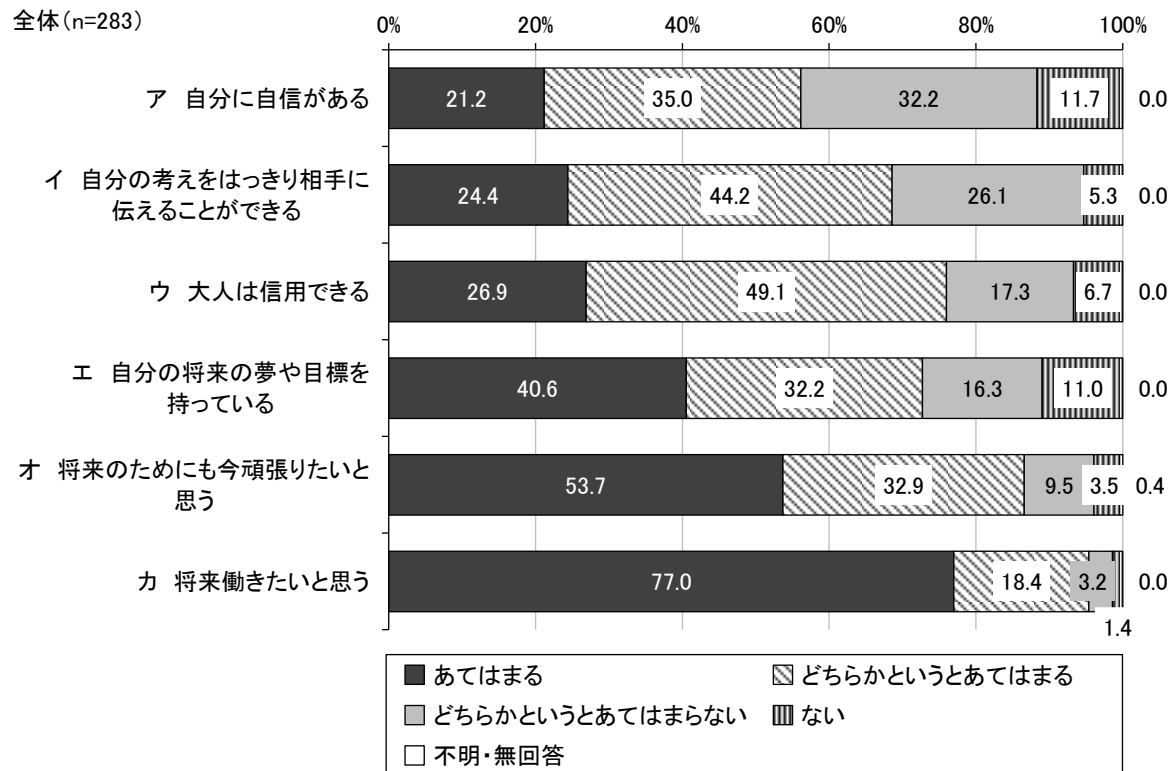
単位：％		よく眠れない	頭が痛くなる	歯が痛い	不安な気持ちになる	物が見づらい	聞こえにくい	よくおなかが痛くなる	よく風邪をひく
全体 (n=283)		16.6	20.5	2.1	19.4	5.7	4.6	19.1	4.6
状況別	非生活困難層 (n=144)	13.9	24.3	1.4	19.4	6.3	4.2	20.8	4.9
	生活困難層 (n=28)	17.9	14.3	0.0	21.4	7.1	0.0	32.1	3.6

単位：％		よく体が痛くなる	まわりが気になる	やる気が起きない	イライラする	その他	いとくに気になることはない	不明・無回答
全体 (n=283)		11.7	18.4	28.3	19.1	3.5	39.6	1.1
状況別	非生活困難層 (n=144)	10.4	16.0	25.0	16.0	4.9	44.4	1.4
	生活困難層 (n=28)	7.1	25.0	32.1	25.0	0.0	25.0	0.0

② 次のア～カについてどのように考えているか教えてください。（それぞれ1つに○）

【児童・生徒】

〔ア 自分に自信がある〕〔イ 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる〕〔ウ 大人は信用できる〕では「どちらかというとあてはまる」、〔エ 自分の将来の夢や目標を持っている〕〔オ 将来のためにも今頑張りたいと思う〕〔カ 将来働きたいと思う〕では「あてはまる」が最も高くなっています。また、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかというとあてはまる」の計）では、〔オ 将来のためにも今頑張りたいと思う〕〔カ 将来働きたいと思う〕で8割以上と高くなっています。

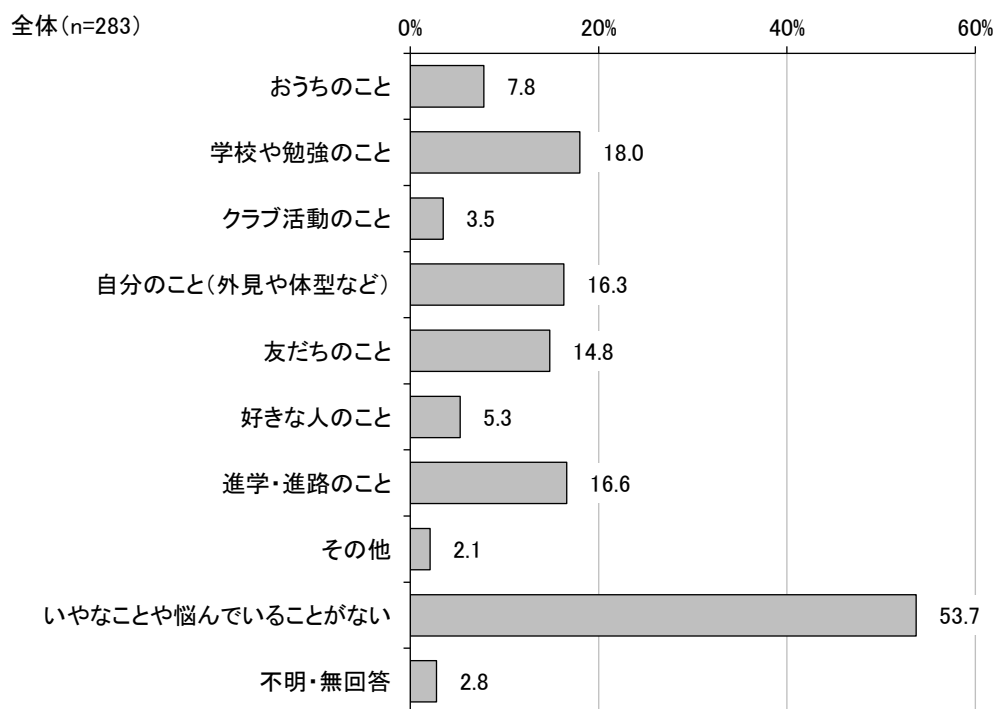


③ いま、いやなことや悩んでいることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

【児童・生徒】

「いやなことや悩んでいることがない」が 53.7%と最も高く、次いで「学校や勉強のこと」が 18.0%、「進学・進路のこと」が 16.6%となっています。

生活状況別にみると、[非生活困難層][生活困難層]ともに「いやなことや悩んでいることがない」が最も高くなっています。

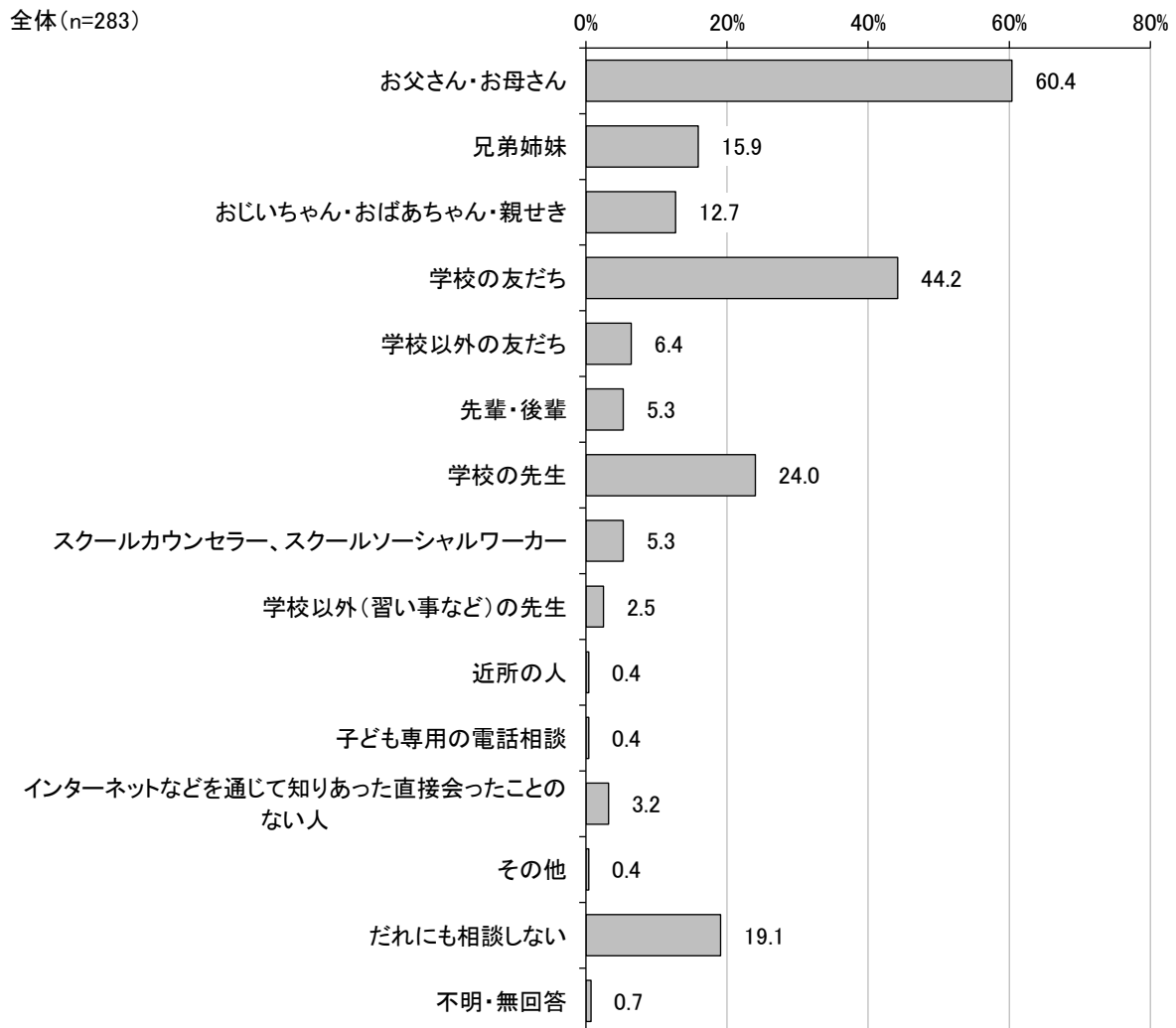


単位: %		おうちのこと	学校や勉強のこと	クラブ活動のこと	自分のこと(外見や体型など)	友だちのこと	好きな人のこと	進学・進路のこと	その他	いやなことや悩んでいることがない	不明・無回答
全体(n=283)		7.8	18.0	3.5	16.3	14.8	5.3	16.6	2.1	53.7	2.8
状況別	非生活困難層(n=144)	9.0	15.3	2.8	18.1	12.5	3.5	16.0	1.4	56.3	3.5
	生活困難層(n=28)	14.3	28.6	10.7	25.0	21.4	14.3	25.0	3.6	46.4	0.0

④ いやなことや悩んでいることがあるとき、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

【児童・生徒】

「お父さん・お母さん」が60.4%と最も高く、次いで「学校の友だち」が44.2%、「学校の先生」が24.0%となっています。



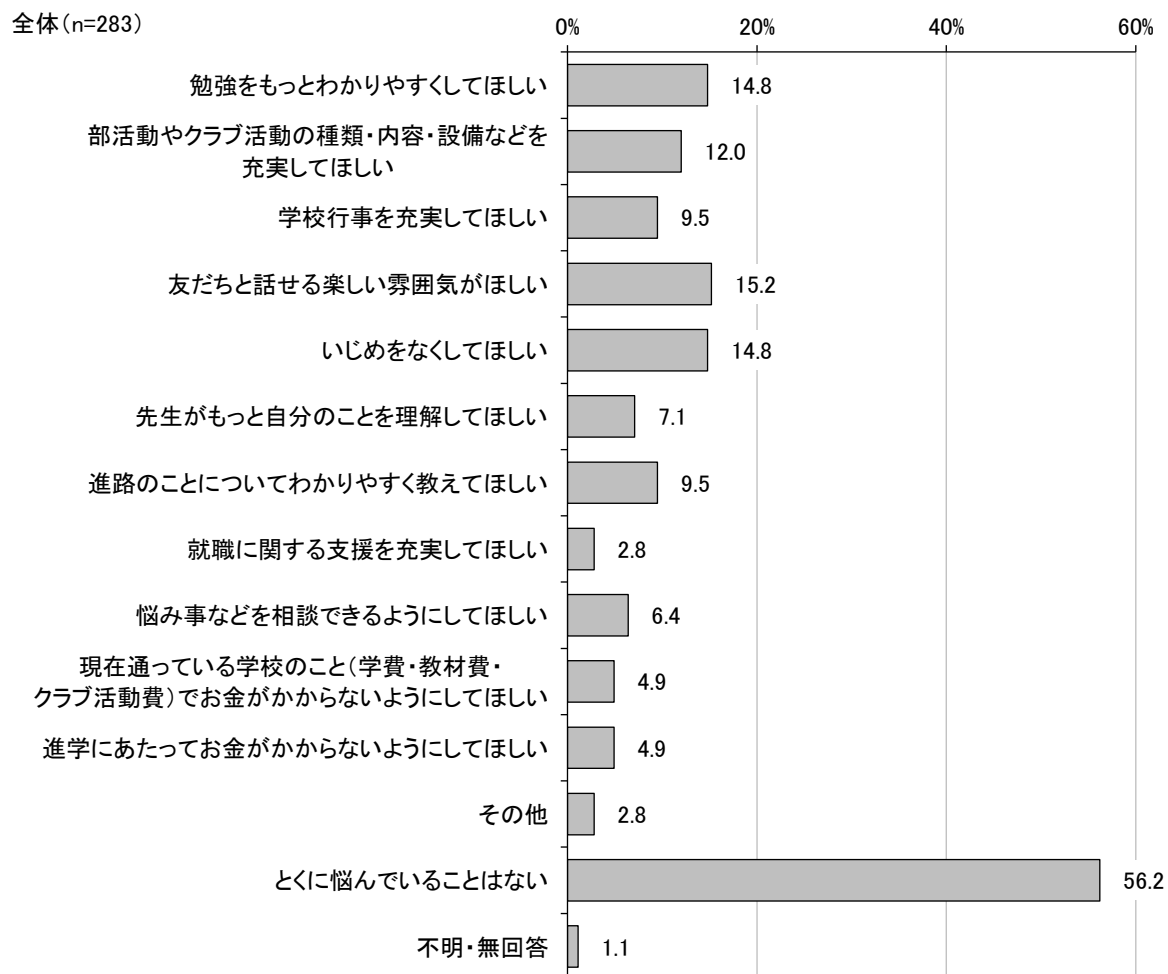
生活状況別にみると、[非生活困難層][生活困難層]ともに「お父さん・お母さん」が最も高くなっています。

単位：％		お父さん・お母さん	兄弟姉妹	おじいちゃん・おばあちゃん・親せき	学校の友だち	学校以外の友だち	先輩・後輩	学校の先生	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
全体(n=283)		60.4	15.9	12.7	44.2	6.4	5.3	24.0	5.3
状況別	非生活困難層(n=144)	61.8	16.0	12.5	39.6	4.9	4.9	22.2	3.5
	生活困難層(n=28)	60.7	17.9	17.9	53.6	7.1	10.7	25.0	7.1

単位：％		学校以外（習い事など）の先生	近所の人	子ども専用の電話相談	インターネットなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	その他	だれにも相談しない	不明・無回答
全体(n=283)		2.5	0.4	0.4	3.2	0.4	19.1	0.7
状況別	非生活困難層(n=144)	1.4	0.7	0.0	4.2	0.0	17.4	1.4
	生活困難層(n=28)	3.6	0.0	0.0	3.6	0.0	25.0	0.0

⑤ 学校のことについて悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)【児童・生徒】

「とくに悩んでいることはない」が56.2%と最も高く、次いで「友だちと話せる楽しい雰囲気がほしい」が15.2%、「勉強をもっとわかりやすくしてほしい」「いじめをなくしてほしい」が14.8%となっています。



生活状況別にみると、[非生活困難層][生活困難層]ともに「とくに悩んでいることはない」が最も高くなっています。

単位：％		勉強をもっとわかりやすくしてほしい	部活動やクラブ活動の種類・内容・設備などを充実してほしい	学校行事を充実してほしい	友だちと話せる楽しい雰囲気してほしい	いじめをなくしてほしい	先生がもっと自分のことを理解してほしい	進路のことについてわかりやすく教えてほしい
全体 (n=283)		14.8	12.0	9.5	15.2	14.8	7.1	9.5
状況別 生活別	非生活困難層 (n=144)	13.2	9.0	7.6	11.1	11.1	6.3	9.0
	生活困難層 (n=28)	35.7	28.6	21.4	35.7	14.3	17.9	10.7

単位：％		就職に関する支援を充実してほしい	悩み事などを相談できるようにしてほしい	現在通っている学校のこと（学費・教材費・クラブ活動費）でお金がかからないようにしてほしい	進学にあたってお金がかからないようにしてほしい	その他	とくに悩んでいることはない	不明・無回答
全体 (n=283)		2.8	6.4	4.9	4.9	2.8	56.2	1.1
状況別 生活別	非生活困難層 (n=144)	2.1	5.6	2.8	2.1	2.8	61.1	1.4
	生活困難層 (n=28)	7.1	21.4	10.7	10.7	3.6	42.9	0.0

(3)将来について

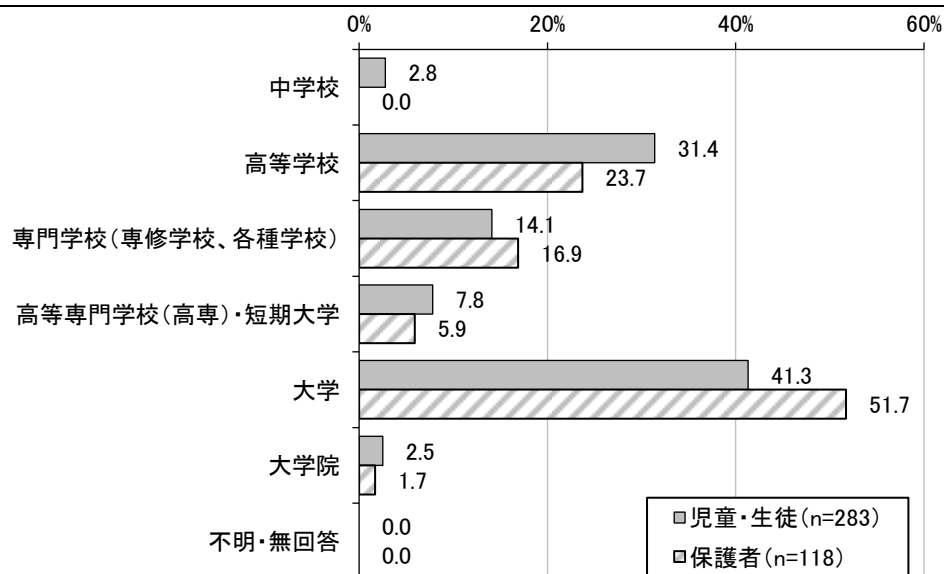
① 理想的には、将来どの学校まで進学したいと思いますか。(1つに○)

児童・生徒では、「大学」が41.3%と最も高く、次いで「高等学校」が31.4%、「専門学校（専修学校、各種学校）」が14.1%となっています。

保護者では、「大学」が51.7%と最も高く、次いで「高等学校」が23.7%、「専門学校（専修学校、各種学校）」が16.9%となっています。

生活状況別にみると、児童・生徒は〔非生活困難層〕では「大学」、〔生活困難層〕では「高等学校」が最も高くなっています。

生活状況別にみると、保護者は〔非生活困難層〕では「大学」、〔生活困難層〕では「高等学校」が最も高くなっています。



【児童・生徒】

単位：%		中学校	高等学校	専門学校（専修学校、各種学校）	高等専門学校（高専）・短期大学	大学	大学院	不明・無回答
全体 (n=283)		2.8	31.4	14.1	7.8	41.3	2.5	0.0
生活状況別	非生活困難層 (n=144)	2.8	27.1	13.9	6.9	47.2	2.1	0.0
	生活困難層 (n=28)	3.6	32.1	25.0	14.3	25.0	0.0	0.0

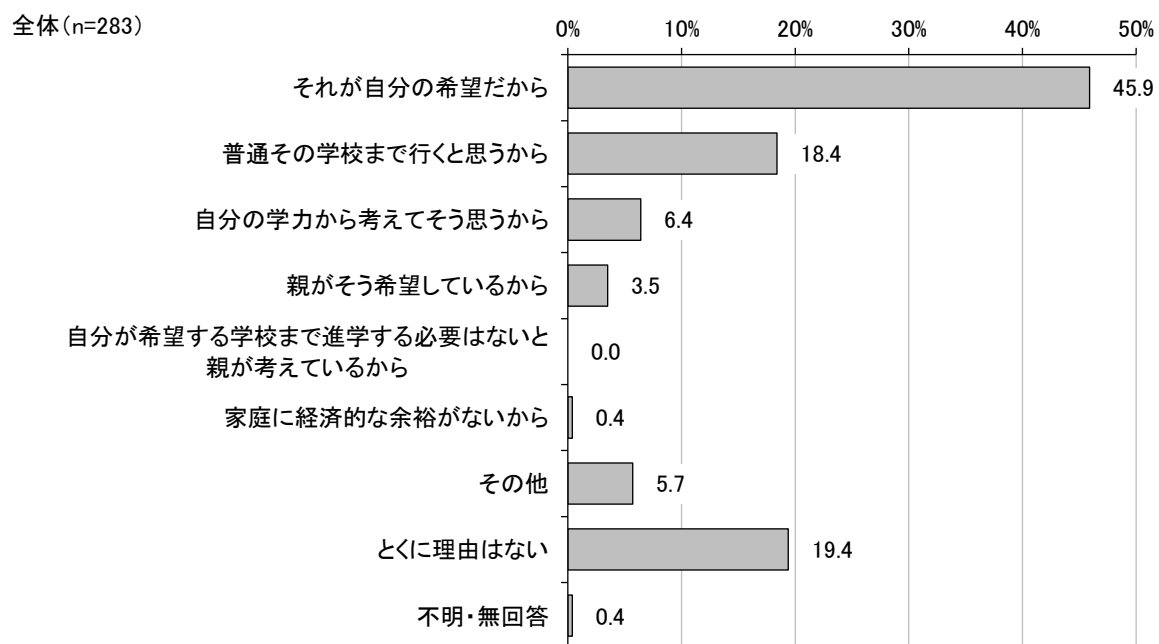
【保護者】

単位：％		中学校	高等学校	専門学校（専門学校（専修学校、各種）	高等専門学校（高専）・短期大学	大学	大学院	不明・無回答
全体(n=118)		0.0	23.7	16.9	5.9	51.7	1.7	0.0
状況別	非生活困難層(n=89)	0.0	19.1	18.0	3.4	59.6	0.0	0.0
	生活困難層(n=18)	0.0	38.9	22.2	11.1	16.7	11.1	0.0

② ①のように考える理由を教えてください。（１つに○）

【児童・生徒】

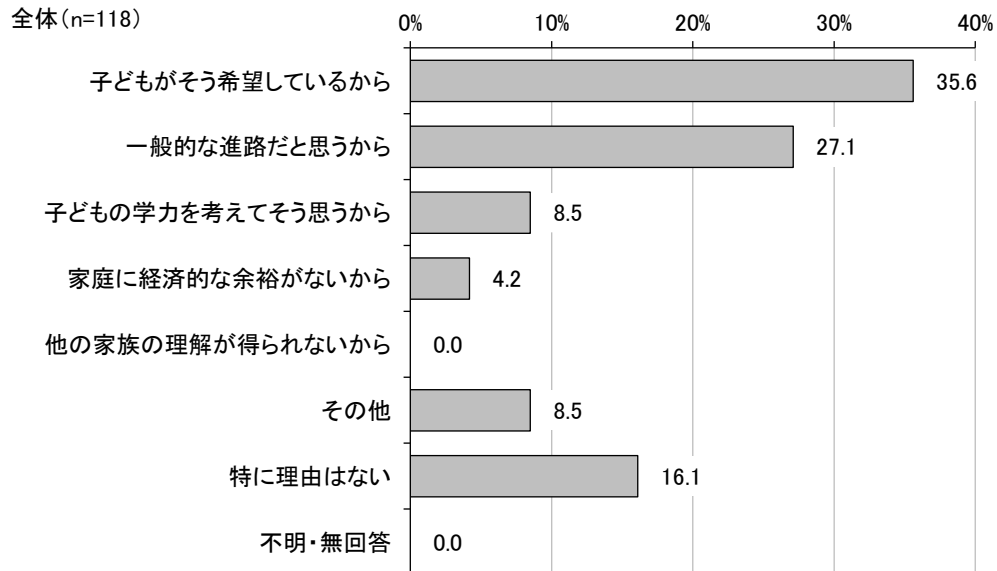
「それが自分の希望だから」が45.9%と最も高く、次いで「とくに理由はない」が19.4%、「普通その学校まで行くと思うから」が18.4%となっています。



【保護者】

「子どもがそう希望しているから」が 35.6%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」が 27.1%、「特に理由はない」が 16.1%となっています。

生活状況別にみると、[非生活困難層][生活困難層]ともに「子どもがそう希望しているから」が最も高くなっています。

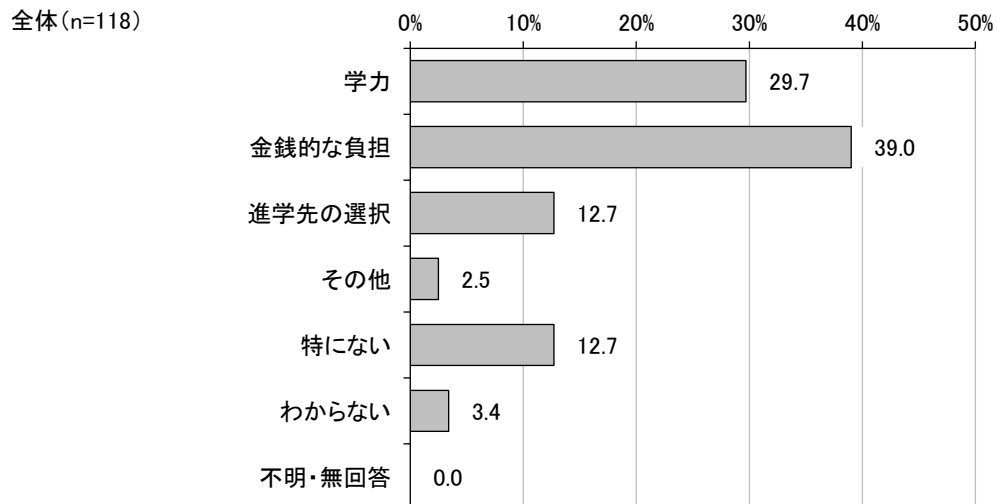


単位: %		子どもがそう希望しているから	一般的な進路だと思うから	子どもの学力を考えてそう思うから	家庭に経済的な余裕がないから	他の家族の理解が得られないから	その他	特に理由はない	不明・無回答
全体(n=118)		35.6	27.1	8.5	4.2	0.0	8.5	16.1	0.0
状況別	非生活困難層(n=89)	36.0	30.3	6.7	2.2	0.0	10.1	14.6	0.0
	生活困難層(n=18)	33.3	16.7	16.7	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0

③ ①で選んだ学校に進学させる際、もっとも心配なことは何ですか。(1つに○)【保護者】

「金銭的な負担」が 39.0%と最も高く、次いで「学力」が 29.7%、「進学先の選択」「特にない」が 12.7%となっています。

生活状況別にみると、[非生活困難層][生活困難層]ともに「金銭的な負担」が最も高くなっています。

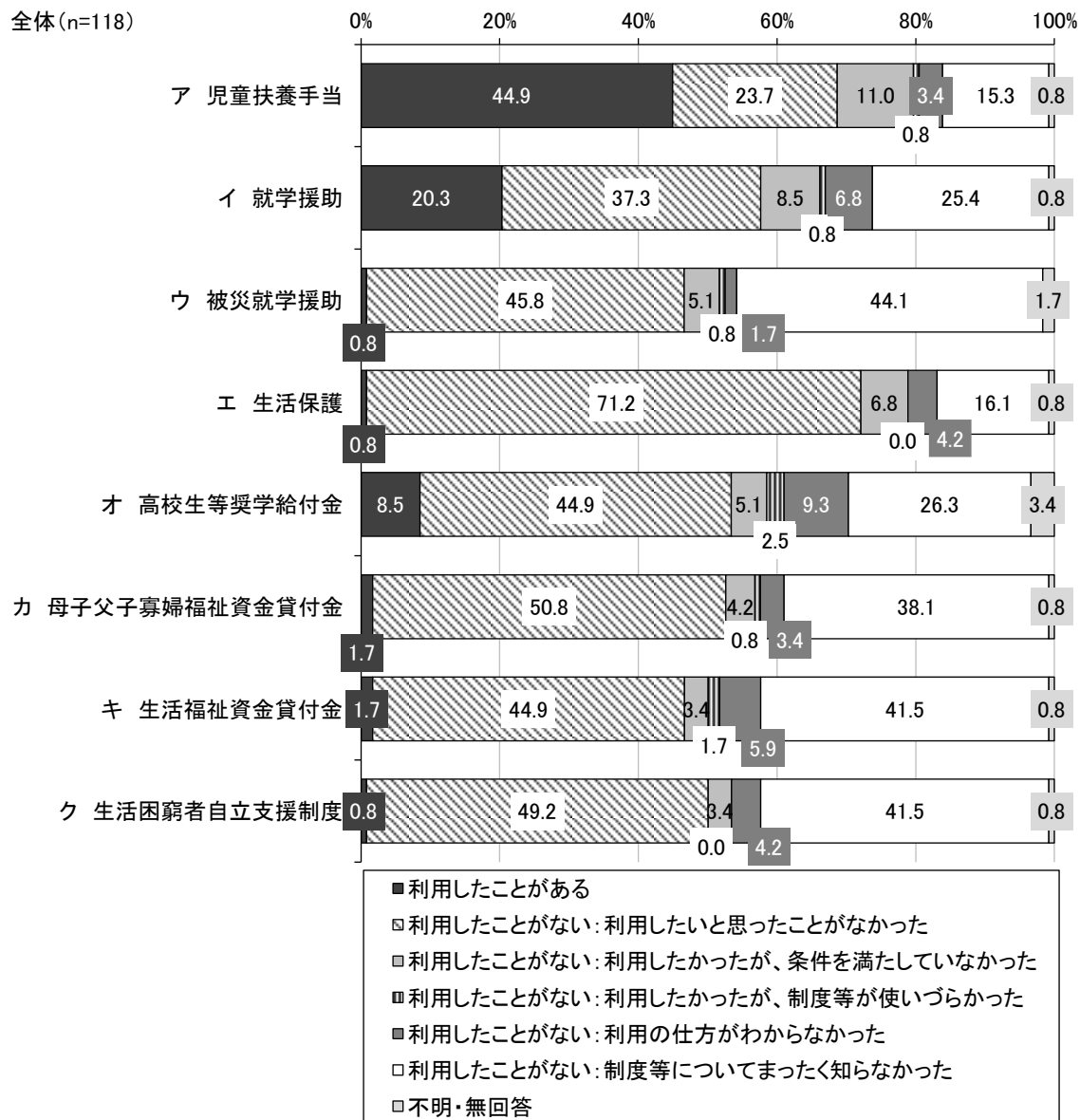


単位: %		学力	金銭的な負担	進学先の選択	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全体(n=118)		29.7	39.0	12.7	2.5	12.7	3.4	0.0
状況別	非生活困難層(n=89)	32.6	37.1	14.6	3.4	10.1	2.2	0.0
	生活困難層(n=18)	27.8	44.4	5.6	0.0	16.7	5.6	0.0

(4)世帯の状況について

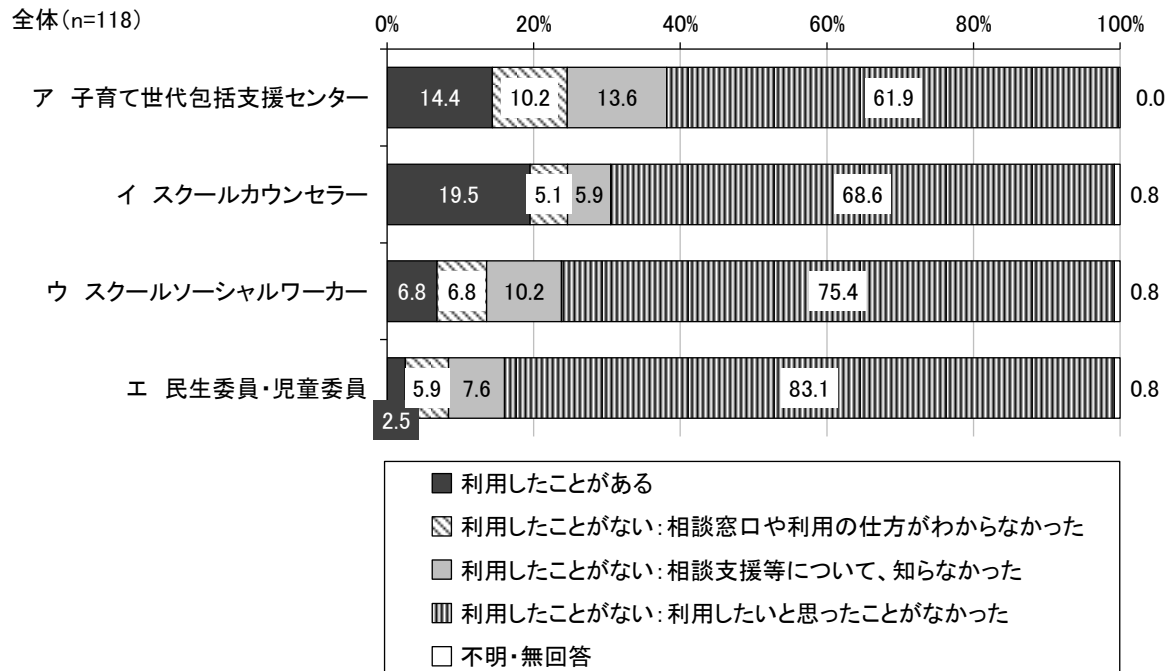
① 次の支援制度等を利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものはどれですか。(次のア～クについて、それぞれ1つに○)【保護者】

〔ア 児童扶養手当〕では「利用したことがある」、それ以外の項目では「利用したことがない：利用したいと思ったことがなかった」が最も高くなっています。また、〔ウ 被災就学援助〕〔カ 母子父子寡婦福祉資金貸付金〕〔キ 生活福祉資金貸付金〕〔ク 生活困窮者自立支援制度〕では「利用したことがない：制度等についてまったく知らなかった」が4割前後と、その他の項目と比べて高くなっています。



② 次の相談支援等を利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものはどれですか。(次のア～エについて、それぞれ1つに○)【保護者】

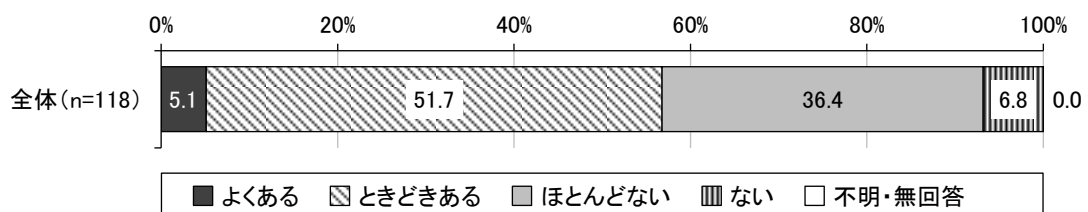
いずれの項目においても「利用したことがない：利用したいと思ったことがなかった」が最も高く、[エ 民生委員・児童委員]では8割以上となっています。また、[イ スクールカウンセラー]では「利用したことがある」が約2割と、その他の項目と比べて高くなっています。



(5)保護者と子どもの関係について

① あなたは、不安やイライラ等の感情を子どもに向けてしまうことがありますか。(1つに○)【保護者】

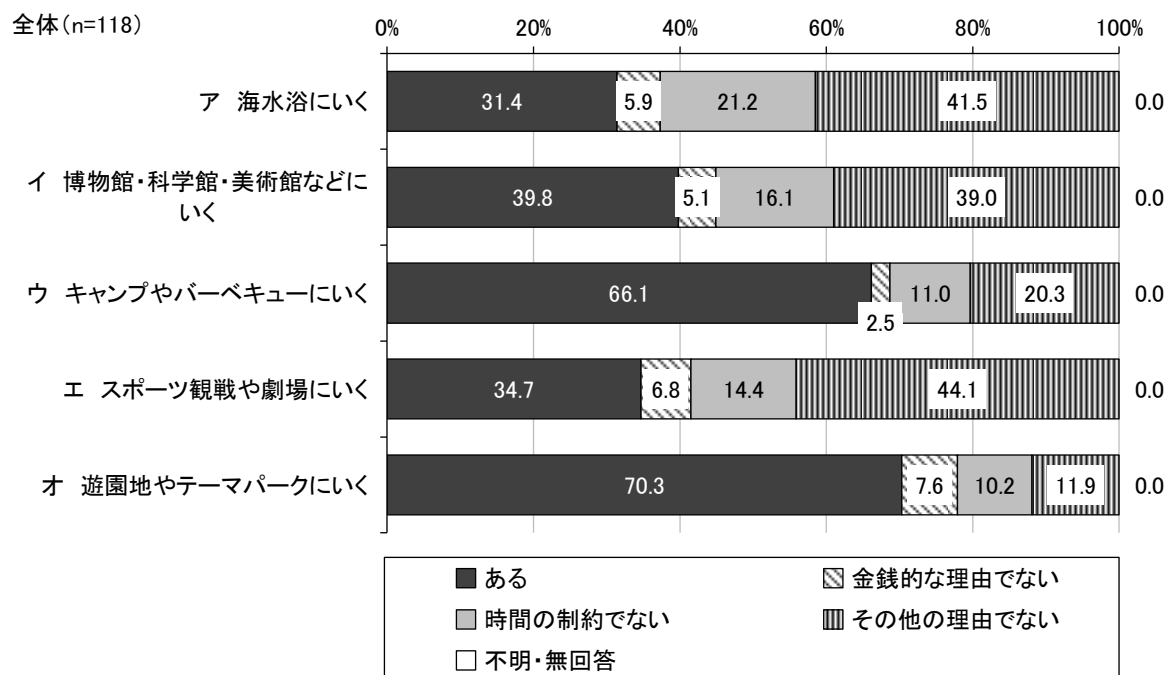
「ときどきある」が51.7%と最も高く、次いで「ほとんどない」が36.4%、「ない」が6.8%となっています。



② 過去1年間に、お子さんと次のような体験をしたことがありますか。

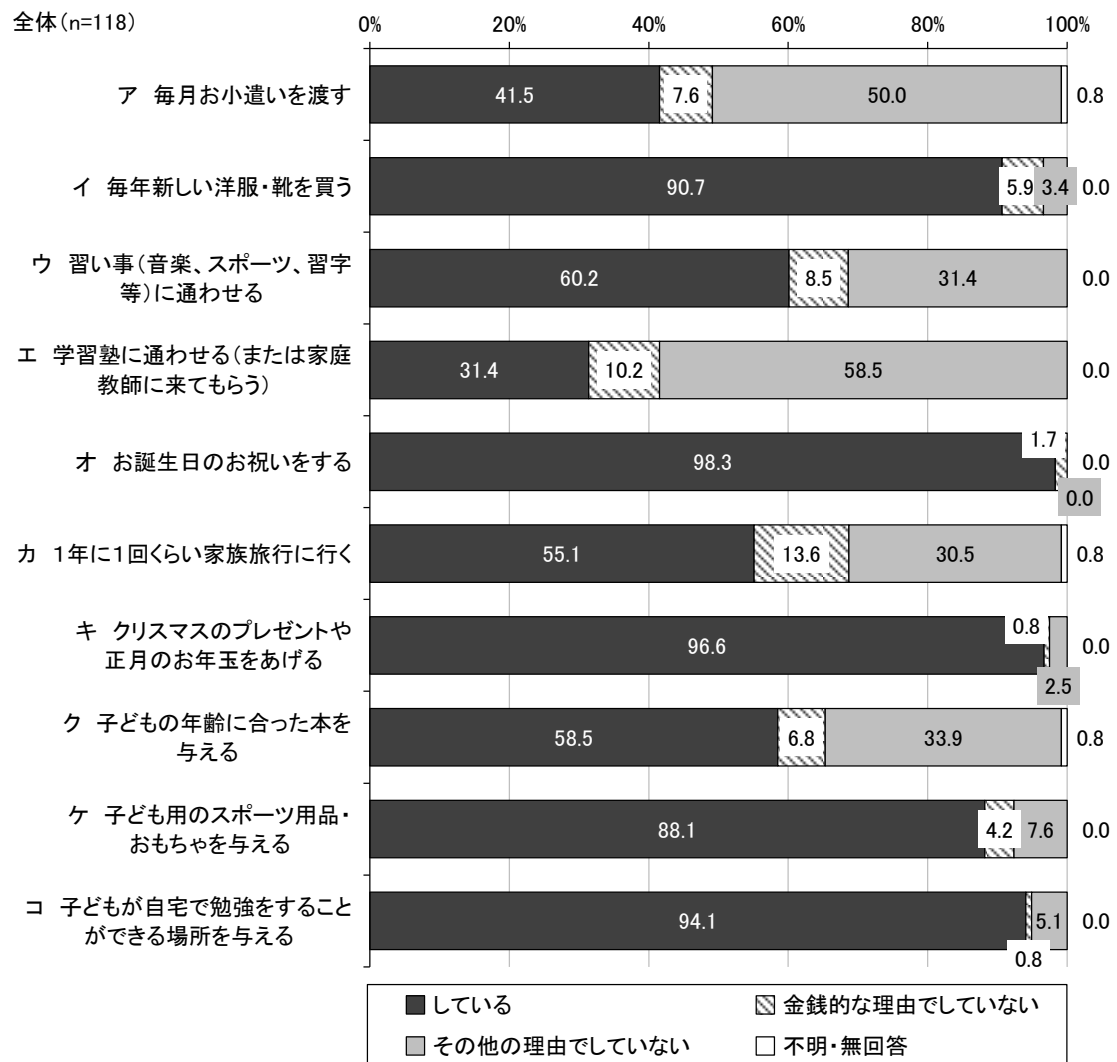
(次のア～オについて、それぞれ1つに○)【保護者】

「その他の理由でない」を除き、いずれの項目においても「ある」が最も高く、〔ウ キャンプやバーベキューに行く〕〔オ 遊園地やテーマパークに行く〕では6割以上となっています。



③ お子さんに次のことをしていますか。(次のア～コについて、それぞれ1つに○)【保護者】

「その他の理由でない」を除き、いずれの項目においても「している」が最も高く、〔イ 毎年新しい洋服・靴を買う〕〔オ お誕生日のお祝いをする〕〔キ クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる〕〔コ 子どもが自宅で勉強をすることができる場所を与える〕では9割以上となっています。



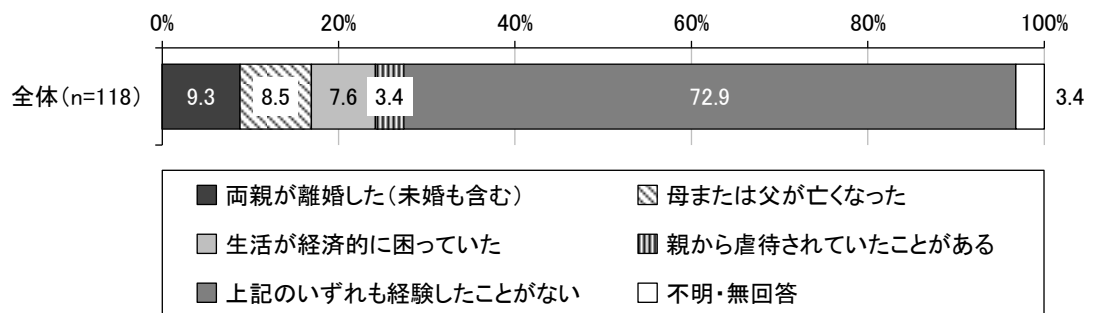
(6)保護者の状況について

① あなた、または配偶者の方は、成人する前、以下のような経験をしたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)【保護者】

「上記のいずれも経験したことがない」が72.9%と最も高く、次いで「両親が離婚した(未婚も含む)」が9.3%、「母または父が亡くなった」が8.5%となっています。

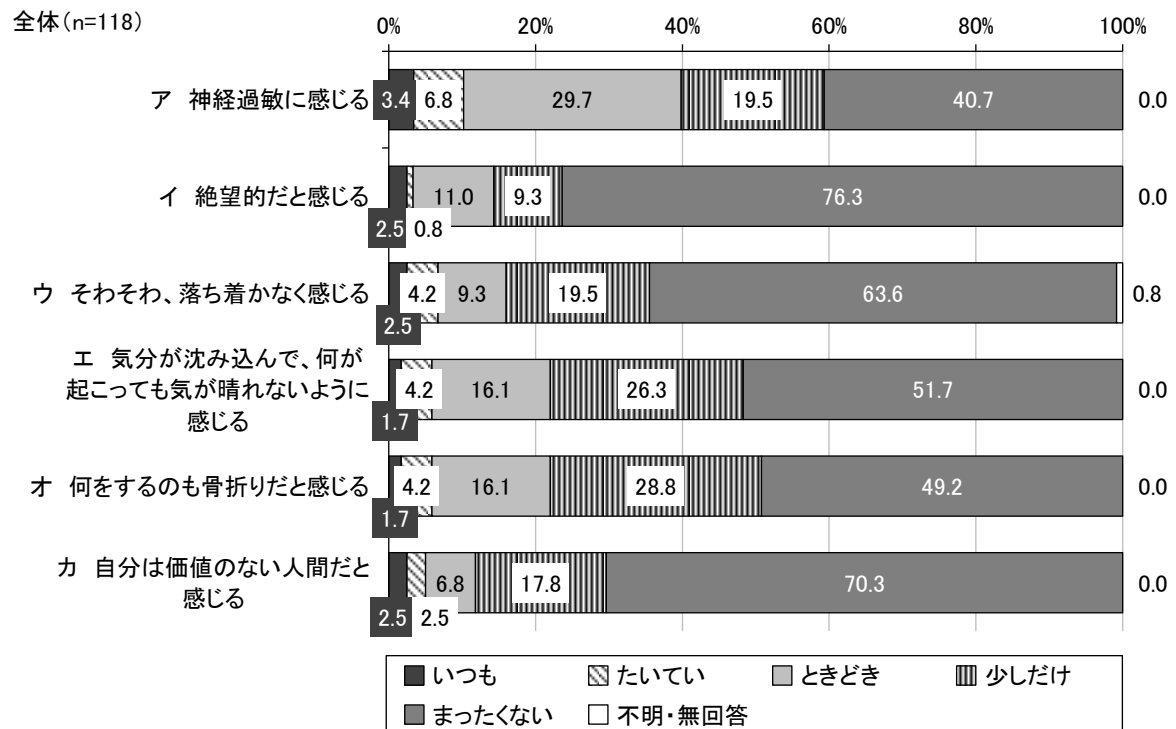
生活状況別にみると、[非生活困難層][生活困難層]ともに「上記のいずれも経験したことがない」が最も高くなっています。



単位: %		両親が離婚した(未婚も含む)	母または父が亡くなった	生活が経済的に困っていた	親から虐待されていたことがある	上記のいずれも経験したことがない	不明・無回答
全体(n=118)		9.3	8.5	7.6	3.4	72.9	3.4
生活状況別	非生活困難層(n=89)	9.0	6.7	7.9	1.1	74.2	4.5
	生活困難層(n=18)	16.7	5.6	11.1	16.7	66.7	0.0

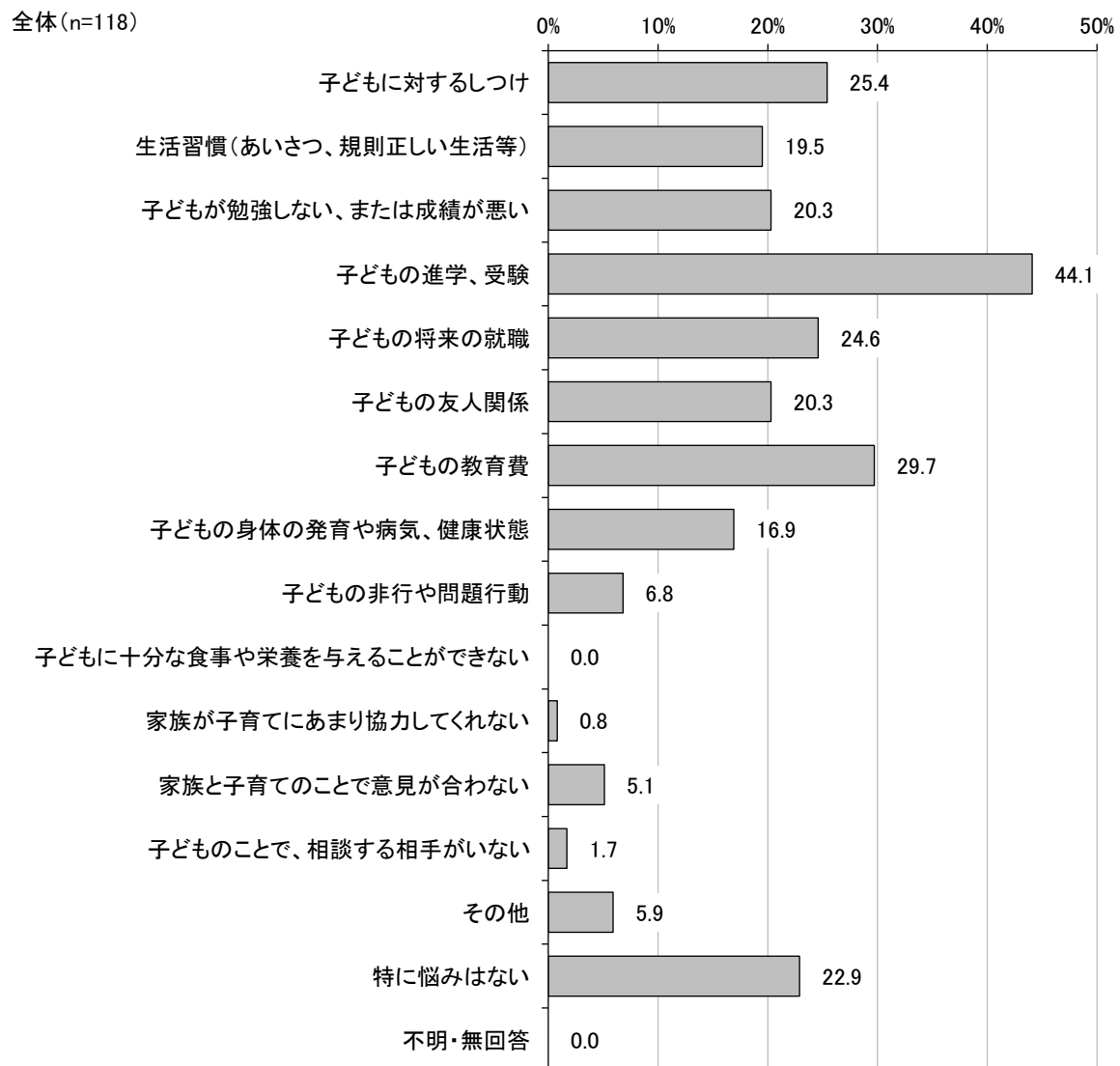
② あなたの普段の生活（ここ 1 カ月の間）についておたずねします。（次のア～カについて、それぞれ 1 つに○）【保護者】

いずれの項目においても「まったくない」が最も高くなっていますが、〔ア 神経過敏に感じる〕では 4 割台と、その他の項目と比べて低くなっています。



③ あなたは、子育てをするうえで、今、不安に感じていることや悩んでいることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)【保護者】

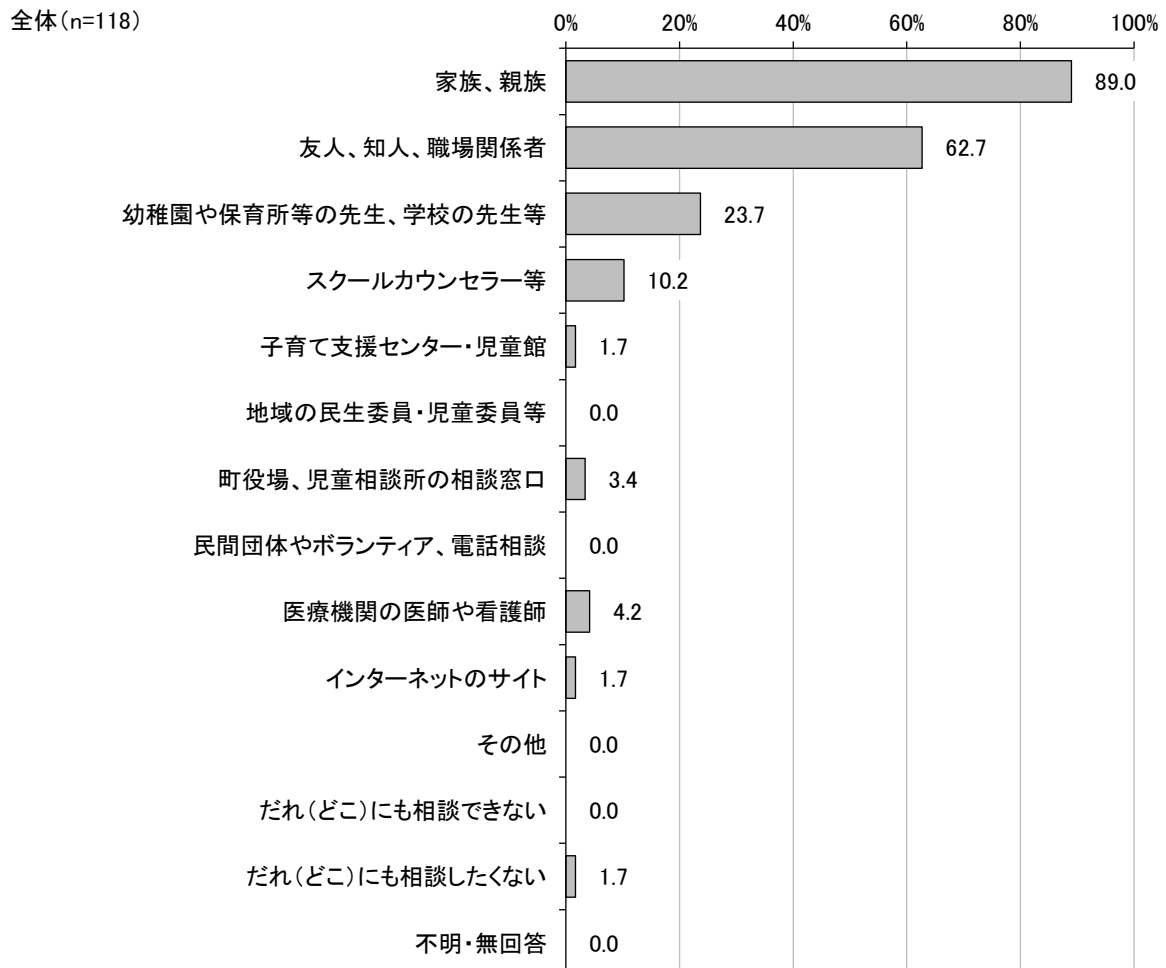
「子どもの進学、受験」が44.1%と最も高く、次いで「子どもの教育費」が29.7%、「子どもに対するしつけ」が25.4%となっています。



④ あなたは、子育てをするうえで困ったり、悩んだとき、だれ（どこ）に相談しようと思いますか。（あてはまるものすべてに○）【保護者】

「家族、親族」が89.0%と最も高く、次いで「友人、知人、職場関係者」が62.7%、「幼稚園や保育所等の先生、学校の先生等」が23.7%となっています。

生活状況別にみると、[非生活困難層][生活困難層]ともに「家族、親族」が最も高くなっています。



単位：％		家族、親族	友人、知人、職場関係者	幼稚園や保育所等の先生、学校の先生等	スクールカウンセラー等	子育て支援センター・児童館	地域の民生委員・児童委員等	町役場、児童相談所の相談窓口
全体(n=118)		89.0	62.7	23.7	10.2	1.7	0.0	3.4
状況別	生活 非生活困難層(n=89)	91.0	67.4	22.5	9.0	2.2	0.0	1.1
	生活 生活困難層(n=18)	77.8	38.9	22.2	5.6	0.0	0.0	16.7

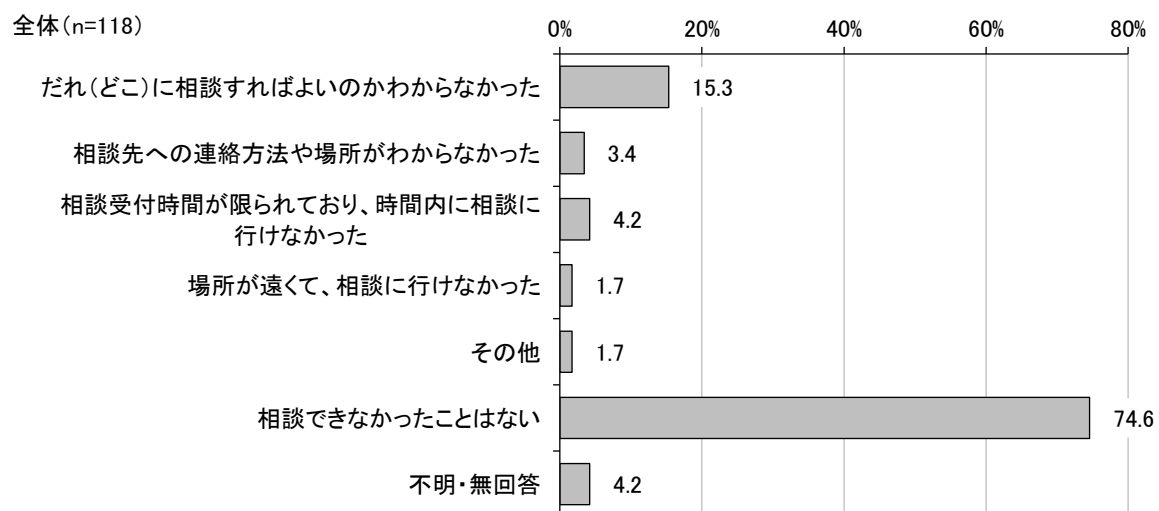
単位：％		民間団体やボランティア、電話相談	医療機関の医師や看護師	インターネットのサイト	その他	だれ（どこ）にも相談できない	だれ（どこ）にも相談したくない	不明・無回答
全体(n=118)		0.0	4.2	1.7	0.0	0.0	1.7	0.0
状況別	生活 非生活困難層(n=89)	0.0	3.4	1.1	0.0	0.0	2.2	0.0
	生活 生活困難層(n=18)	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑤ あなたは、子育てのことで相談したいと思ったが、相談できなかったことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)【保護者】

「相談できなかったことはない」が74.6%と最も高く、次いで「だれ(どこ)に相談すればよいのかわからなかった」が15.3%、「相談受付時間が限られており、時間内に相談に行けなかった」が4.2%となっています。

生活状況別にみると、[非生活困難層][生活困難層]ともに「相談できなかったことはない」が最も高くなっています。



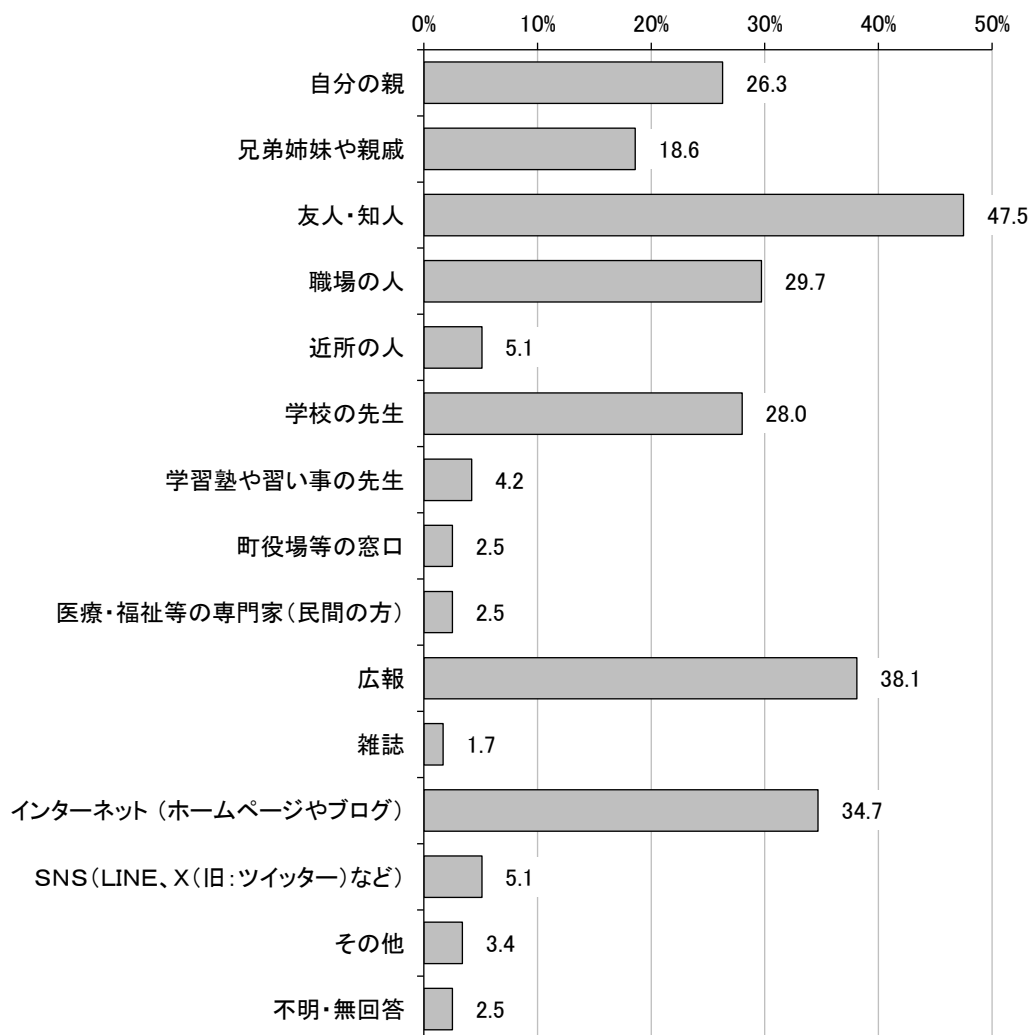
単位: %		だれ(どこ)に相談すればよいのかわからなかった	相談先への連絡方法や場所がわからなかった	相談受付時間内に相談に行けなかった	場所が遠くて、相談に行けなかった	その他	相談できなかったことはない	不明・無回答
全体(n=118)		15.3	3.4	4.2	1.7	1.7	74.6	4.2
生活状況別	非生活困難層(n=89)	12.4	1.1	1.1	0.0	2.2	80.9	4.5
	生活困難層(n=18)	27.8	11.1	5.6	5.6	0.0	50.0	5.6

⑥ あなたは、子どもに関する施策等の情報をどのような方法で受け取っていますか。

(あてはまるものすべてに○)【保護者】

「友人・知人」が47.5%と最も高く、次いで「広報」が38.1%、「インターネット（ホームページやブログ）」が34.7%となっています。

全体(n=118)



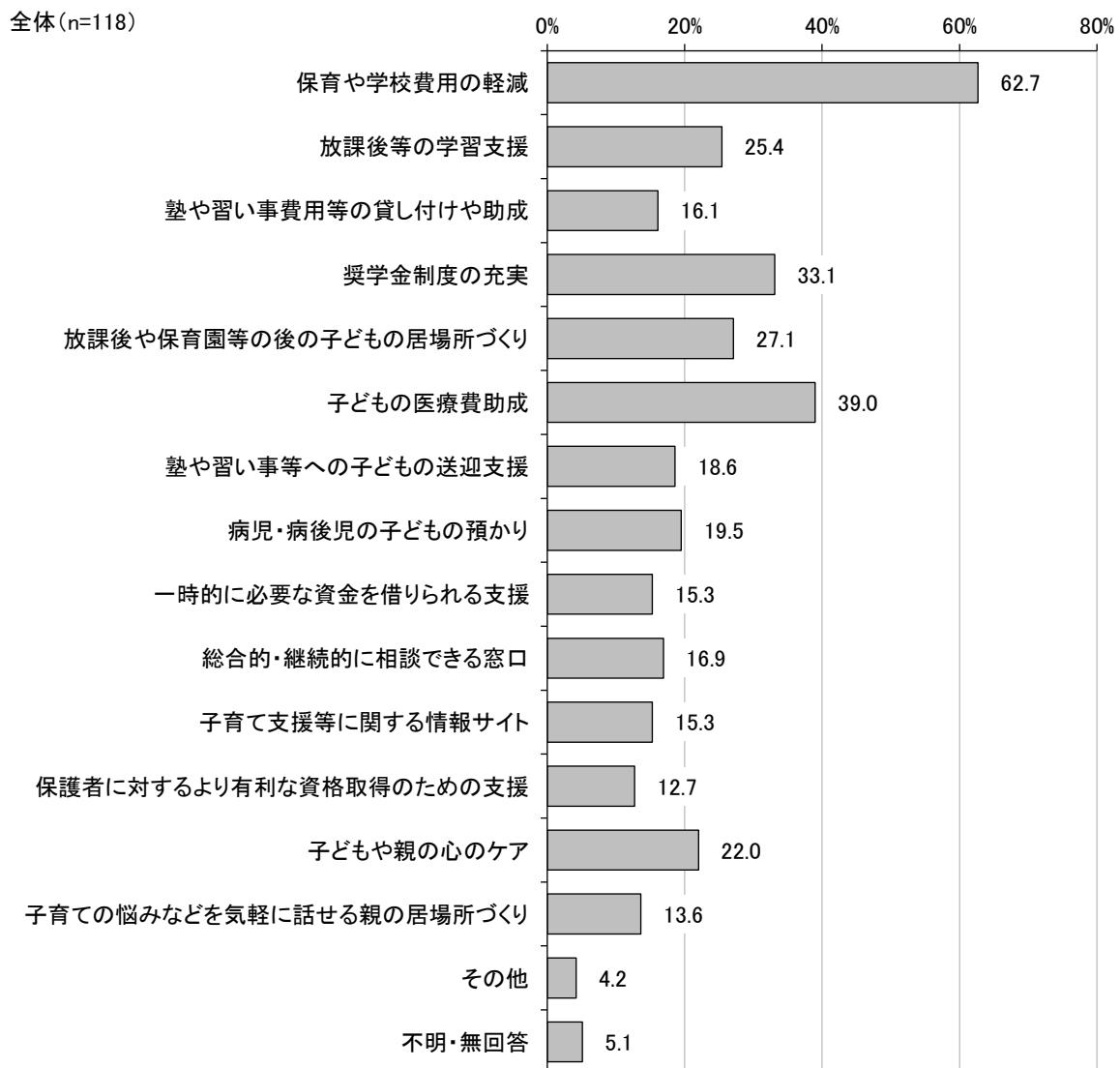
生活状況別にみると、[非生活困難層] では「友人・知人」、[生活困難層] では「友人・知人」「学校の先生」が最も高くなっています。

単位：％		自分の親	兄弟姉妹や親戚	友人・知人	職場の人	近所の人	学校の先生	学習塾や習い事の先生	町役場等の窓口
全体 (n=118)		26.3	18.6	47.5	29.7	5.1	28.0	4.2	2.5
状況別	非生活困難層 (n=89)	32.6	18.0	48.3	31.5	4.5	24.7	5.6	1.1
	生活困難層 (n=18)	11.1	27.8	44.4	22.2	0.0	44.4	0.0	11.1

単位：％		(医療・福祉等の専門家 民間の方)	広報	雑誌	インターネット ページやブログ (ホームページ)	SNS (LINE、Twitter、Xなど) (旧SNS)	その他	不明・無回答
全体 (n=118)		2.5	38.1	1.7	34.7	5.1	3.4	2.5
状況別	非生活困難層 (n=89)	1.1	40.4	1.1	36.0	5.6	3.4	2.2
	生活困難層 (n=18)	5.6	33.3	0.0	33.3	0.0	5.6	0.0

⑦ あなたが子育てをするうえで必要としていること、重要だと思う支援はどのようなものですか。
 (あてはまるものすべてに○)【保護者】

「保育や学校費用の軽減」が62.7%と最も高く、次いで「子どもの医療費助成」が39.0%、「奨学金制度の充実」が33.1%となっています。



生活状況別にみると、[非生活困難層][生活困難層]ともに「保育や学校費用の軽減」が最も高くなっています。

単位：％		保育や学校費用の軽減	放課後等の学習支援	塾や習い事費用等の貸し付けや助成	奨学金制度の充実	放課後や保育園等の後の子どもの居場所づくり	子どもの医療費助成	送迎支援 塾や習い事等への子どもの	病児・病後児の子どもの預かり
全体 (n=118)		62.7	25.4	16.1	33.1	27.1	39.0	18.6	19.5
状況別	非生活困難層 (n=89)	66.3	24.7	15.7	34.8	23.6	43.8	18.0	22.5
	生活困難層 (n=18)	66.7	33.3	27.8	27.8	38.9	33.3	22.2	0.0

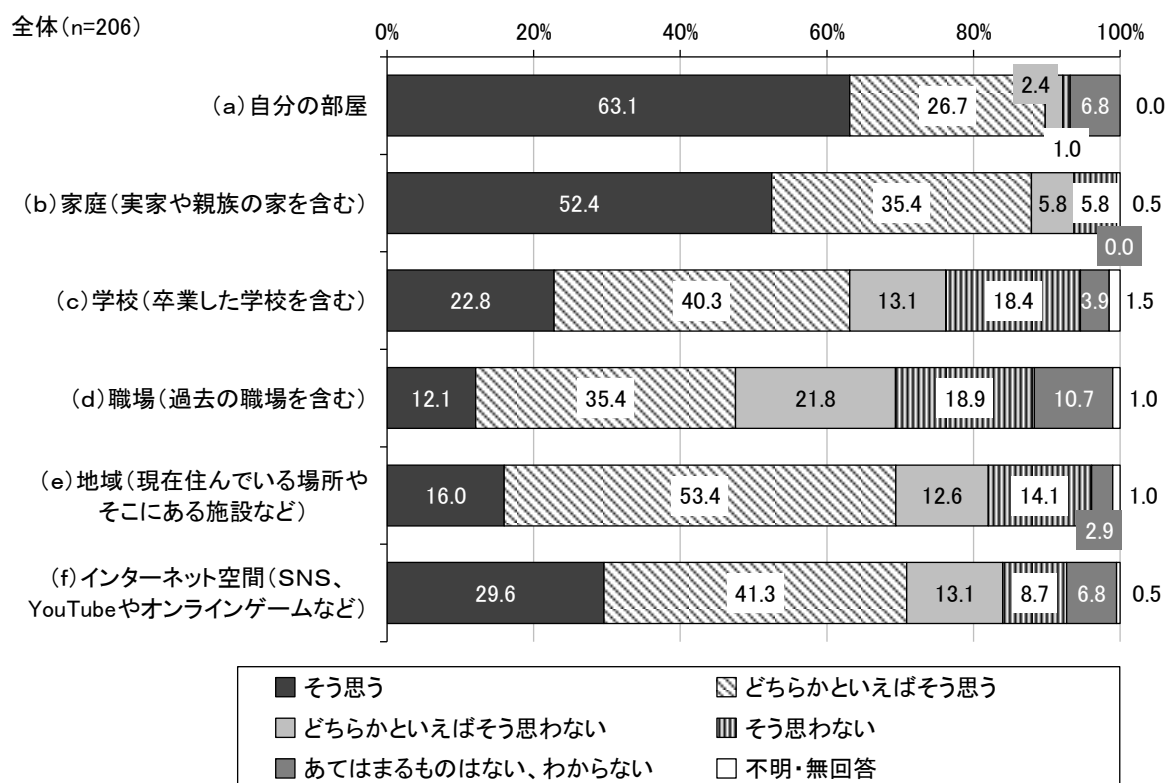
単位：％		一時的に必要な資金を借りられる支援	総合的・継続的に相談できる窓口	子育て支援等に関する情報サイト	保護者に対するより有利な資格取得のための支援	子どもや親の心のケア	子育ての悩みなどを気軽に話せる親の居場所づくり	その他	不明・無回答
全体 (n=118)		15.3	16.9	15.3	12.7	22.0	13.6	4.2	5.1
状況別	非生活困難層 (n=89)	15.7	18.0	12.4	10.1	19.1	12.4	2.2	5.6
	生活困難層 (n=18)	11.1	11.1	22.2	22.2	27.8	22.2	11.1	0.0

3 子ども・若者調査

(1) 普段の生活について

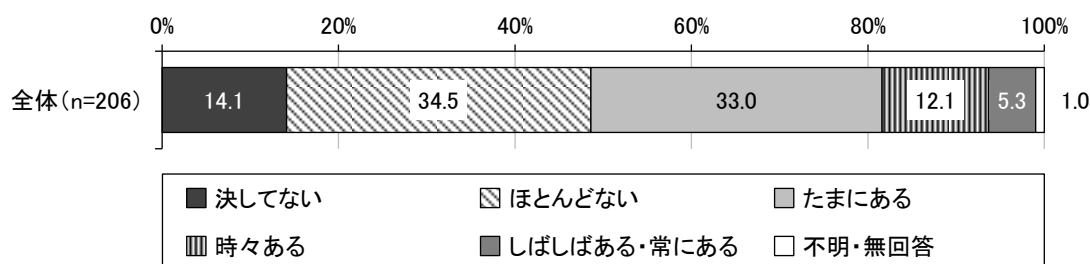
① 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。（(a) ～ (f) のそれぞれについて、あてはまる番号 1 つに○）

〔(a) 自分の部屋〕〔(b) 家庭（実家や親族の家を含む）〕では「そう思う」、その他の項目では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。また、『思う』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計）では〔(a) 自分の部屋〕〔(b) 家庭（実家や親族の家を含む）〕で約9割、〔(e) 地域（現在住んでいる場所やそこにある施設など）〕〔(f) インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）〕で7割前後となっているのに対して、〔(c) 学校（卒業した学校を含む）〕で6割台、〔(d) 職場（過去の職場を含む）〕で約5割とやや低くなっています。



② あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。（1 つに○）

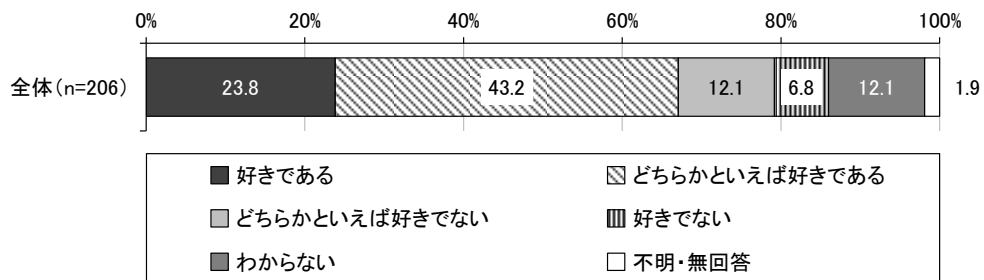
「ほとんどない」が 34.5%と最も高く、次いで「たまにある」が 33.0%、「決してない」が 14.1%となっています。



(2)地域社会との関係について

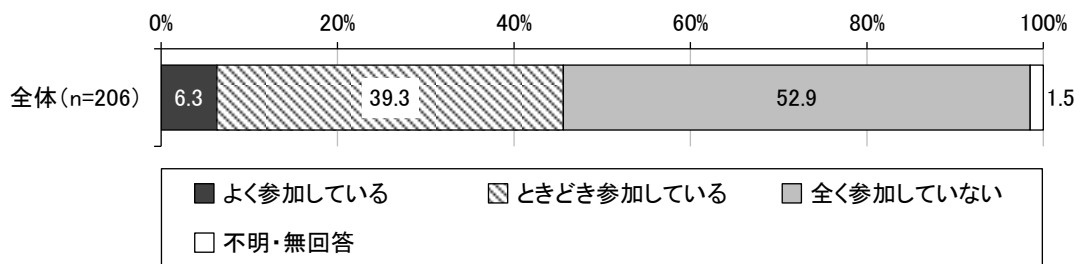
① あなたは、会津美里町が好きですか。(1つに○)

「どちらかといえば好きである」が43.2%と最も高く、次いで「好きである」が23.8%、「どちらかといえば好きでない」「わからない」が12.1%となっています。



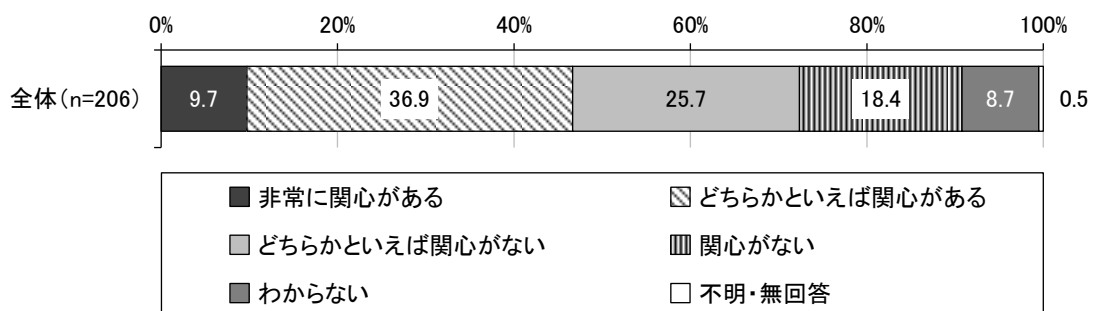
② あなたは、地域の活動や行事にどの程度参加していますか。(1つに○)

「全く参加していない」が52.9%と最も高く、次いで「ときどき参加している」が39.3%、「よく参加している」が6.3%となっています。



③ あなたは、今の会津美里町の行政にどのくらい関心がありますか。(1つに○)

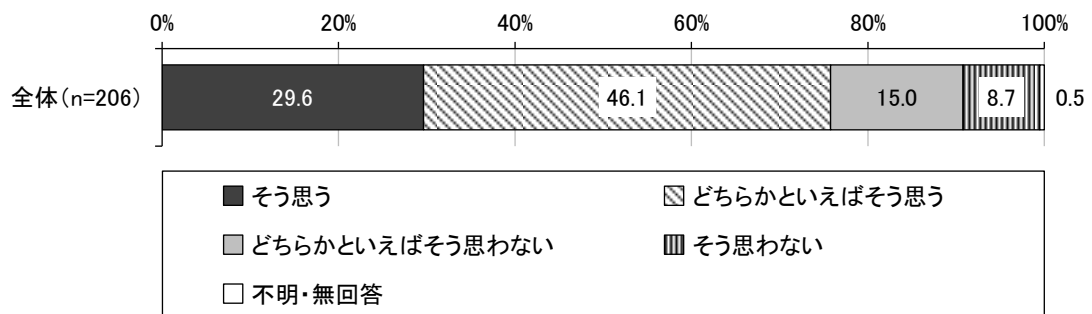
「どちらかといえば関心がある」が36.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば関心がない」が25.7%、「関心がない」が18.4%となっています。



(3)自身に関する意識について

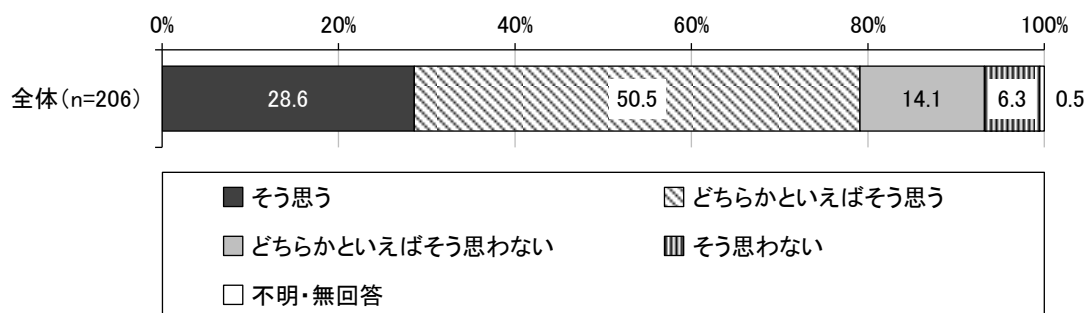
① あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。(1つに○)

「どちらかといえばそう思う」が46.1%と最も高く、次いで「そう思う」が29.6%、「どちらかといえばそう思わない」が15.0%となっています。



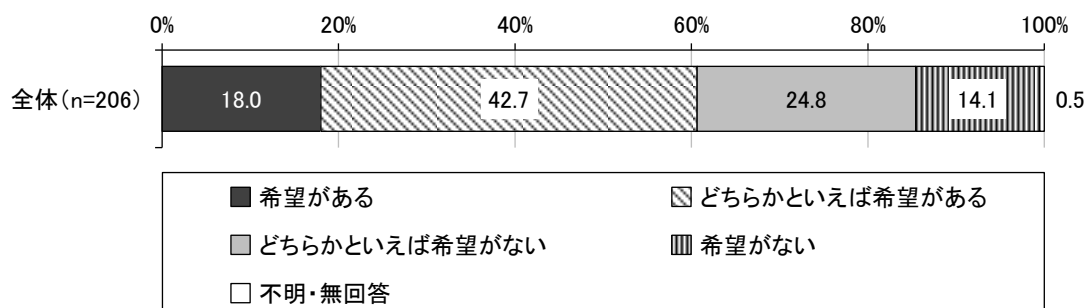
② あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(1つに○)

「どちらかといえばそう思う」が50.5%と最も高く、次いで「そう思う」が28.6%、「どちらかといえばそう思わない」が14.1%となっています。



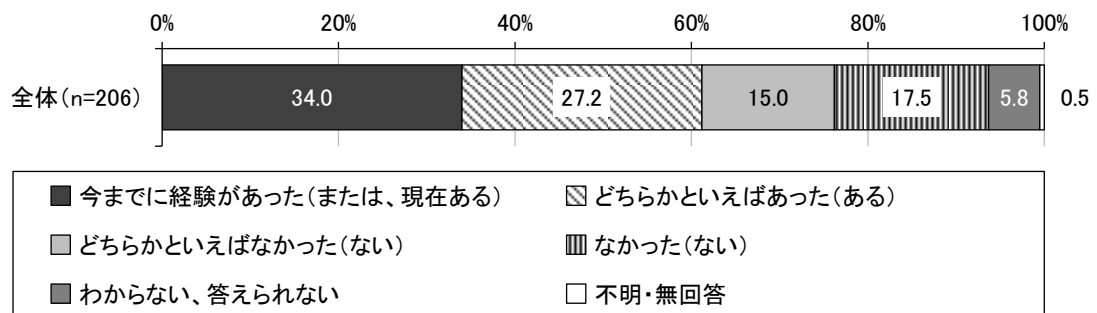
③ あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(1つに○)

「どちらかといえば希望がある」が42.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば希望がない」が24.8%、「希望がある」が18.0%となっています。



- ④ あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。最もあてはまるものを選んでください。（1つに○）

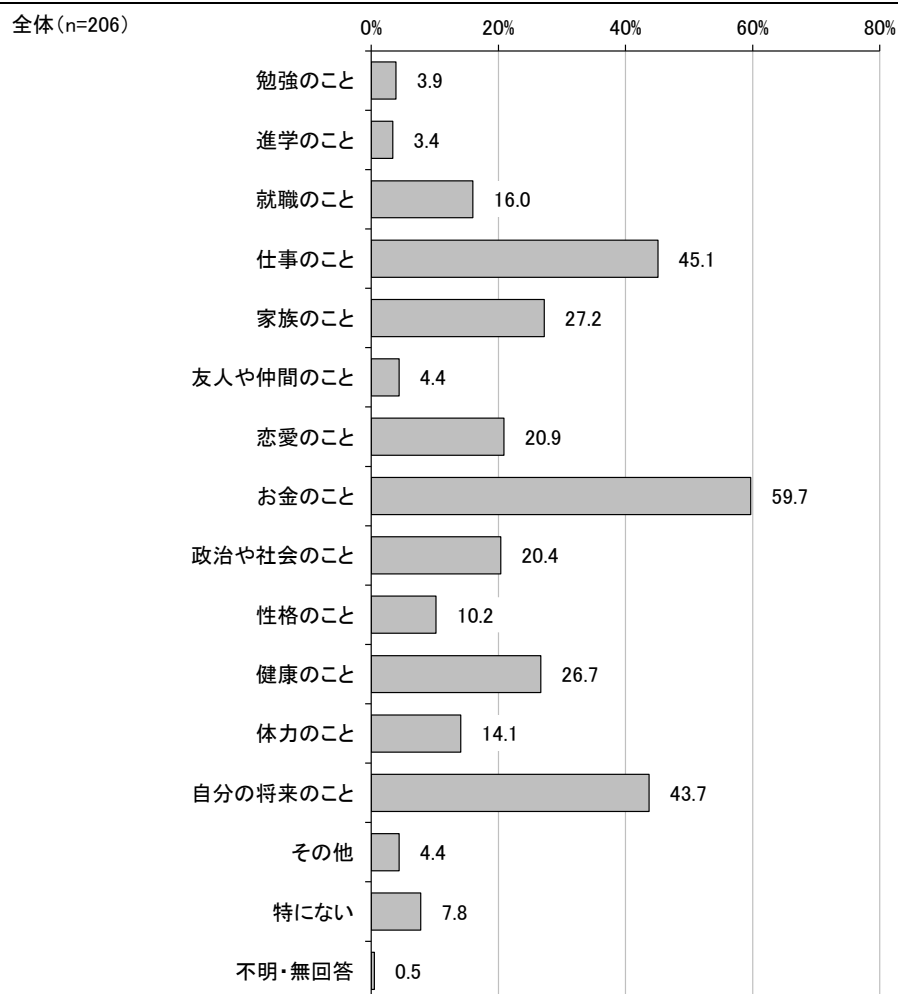
「今までに経験があった（または、現在ある）」が 34.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばあった（ある）」が 27.2%、「なかった（ない）」が 17.5%となっています。



(4)相談について

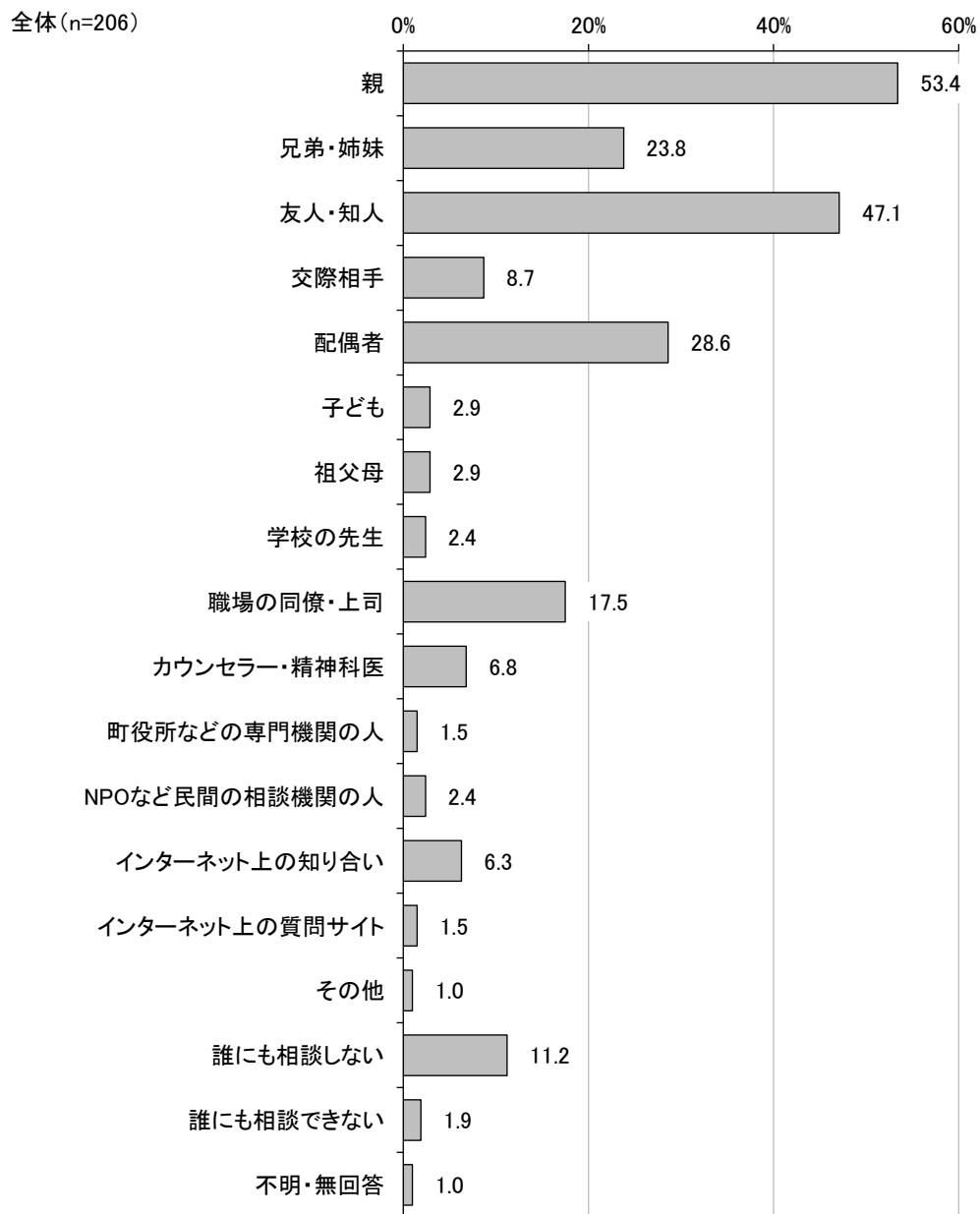
- ① あなたは、現在どのような悩みや心配事がありますか。（あてはまる番号全てに○）

「お金のこと」が 59.7%と最も高く、次いで「仕事のこと」が 45.1%、「自分の将来のこと」が 43.7%となっています。



② あなたは普段悩み事を誰に相談しますか。(あてはまる番号全てに○)

「親」が 53.4%と最も高く、次いで「友人・知人」が 47.1%、「配偶者」が 28.6%となっています。



(5)町の取り組みについて

- ① あなたは、これから若者（39歳ぐらいまでの人）のために、会津美里町に必要な取り組みは何だと思いますか。（〇は3つまで）

「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行く）ように支援する」が51.9%と最も高く、次いで「困難を抱える子ども・若者を包括的に支援する体制を整備する」が38.3%、「就職に向けた相談やサポート体制を充実させる」が31.6%となっています。

